

TOSHIBA

東芝ブルーレイディスクプレーヤー取扱説明書

REGZA

形名 DBP-S500



はじめに

準備する

再生する

さまざまな設定や情報



AVCREC™

AVCHD™



BONUS VIEW™

DOLBY AUDIO™

dtS
2.0+Digital Out

HDMI®
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

Java™
POWERED

❖ 電源を「入」にしたとき

電源を入れたあと、画面が表示されるまでに少し時間がかかりますが、そのままお待ちください。

❖ 本機の操作で「わからない」「困った!」そんなときは…

「症状に合わせて解決法を調べる」 **56**、「用語解説」 **59** をご覧ください。

❖ 必ず最初に「安全上のご注意」 **7** をご覧ください。

❖ このたびは東芝ブルーレイディスクプレーヤーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
お求めのブルーレイディスクプレーヤーを正しく使っていただくために、お使いになる前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。

お読みになったあとはいつも手元においてご使用ください。

◆ お客様登録サイト〈レグザ メンバース〉に登録をお願いします ◆

「レグザ メンバース」は、映像商品のお客様登録サイトです。
ご登録いただくと、さまざまなサービスやサポートが受けられます。
※ Web限定のサービスです。



<https://store.regza.com/members/>

スマートフォンからも
ご登録できます

もくじ

はじめに 3

お使いになる前に.....	5
本書で使用するマークの意味	5
付属品を確認する.....	6
安全上のご注意.....	7
本製品の主な特徴.....	15
各部のなまえとはたらき	17
本体前面	17
本体背面	18
リモコン	19

準備する 21

リモコンを準備する.....	21
電池の入れかた	21
本機とつなぐ	23
テレビや AV アンプとつなぐ	23
USB 機器とつなぐ	25
電源コードをつなぐ.....	26

もくじ・つづき

再生する

27

ディスクの映像を再生する	27
ブルーレイディスクを再生するとき	27
基本的な再生	30
BD-R/RE、DVD-R/RW を再生する	34
再生するときに便利な機能	35
MP3/JPEG ファイルを再生する	42

さまざまな設定や情報

44

カスタマイズする	44
システムを設定する	44
言語を設定する	46
再生を設定する	47
視聴制限を設定する	49
映像出力を設定する	51
映像処理を設定する	53
音声出力を設定する	54
システム情報	55
症状に合わせて解決法を調べる	56
用語解説	59
仕様	62
ライセンス情報	63
本機で使われるソフトウェアのライセンス情報	63
使用上のお願い	101
商品の保証とアフターサービス	108

お使いになる前に

- 本書の操作説明は、リモコンでの操作を中心に説明しています。
- 「本機」とは「お使いのプレーヤー」のことを、「他機」とは「本機以外の機器」のことを表します。
- 画面表示の細部や説明文、表現、ガイド、メッセージの表示位置などは、本書と製品で異なることがあります。
- 本書で例として記載している各画面の内容やキーワードなどは説明用です。
- 専門的な用語が使われている場合があります。それらの用語については「用語解説」をご覧ください。
- 本機の動作状態によっては、実行できない操作をしたときに画面にメッセージが表示される場合があります。本書では、画面にメッセージが表示される操作制限についての説明は省略している場合があります。
- 製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際には、本体の製造番号と保証書の製造番号が一致しているかご確認ください。

本書で使用するマークの意味

● ヒントアイコン

操作するときに役立つ内容などのお知らせです。



機能などの補足説明、参考にしていただきたいこと、制限事項などを記載しています。



取扱上のご注意を記載しています。



関連する内容が記載されているページの番号を記載しています。

はじめに

お使いになる前に・つづき

付属品を確認する

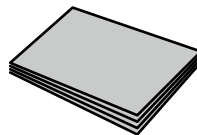
リモコン (SE-R0474) / 1 個



単四形乾電池 (R03) / 2 本



取扱説明書 / 1 部



安全上のご注意

製品本体および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

■ 表示の説明

表 示	表 示 の 意 味
 警告	“取扱いを誤った場合、人が死亡または重傷（*1）を負うことが想定されること”を示します。
 注意	“取扱いを誤った場合、人が軽症（*2）を負うことが想定されるか、または物的損害（*3）の発生が想定されること”を示します。

*1：重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温・化学）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

*2：軽症とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。

*3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

■ 図記号の例

図 記 号	図 記 号 の 意 味
 禁 止	“  ”は、 禁止 （してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
 指 示	“  ”は、 指示 する行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
 注 意	“  ”は、 注意 を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

安全上のご注意・つづき



異常や故障のとき

次のときは、ただちに電源プラグを抜く

- 煙が出ていたり、変なにおいがしたりするとき
- 内部に水や異物がはいったとき
- 落としたり、キャビネットを破損したとき
- 電源コードが傷んだり、電源プラグが発熱したりしたとき

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。発煙・発熱などが治まったのを確認後、お買い上げの販売店にご連絡のうえ、点検・修理・交換をご依頼ください。また、キャビネットが破損したままでは取り扱わず、けがのおそれがあります。



プラグを抜く



警告

設置するとき

電源プラグは交流 100V のコンセントに接続する

交流 100V 以外を使用すると、火災・感電の原因となります。



指 示

本機はコンセントから電源プラグが抜きやすいように設置する

万一の異常や故障のとき、または長期間使用しないときなどに役立ちます。



指 示

ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所や振動のある場所に置かない

本機が落ちて、けがの原因となります。



禁 止

屋外や風呂、シャワー室など、水のかかるおそれのある場所には置かない

火災・感電の原因となります。



風呂、シャワー室での使用禁止

上にものを置かない

金属類や、花瓶・コップ・化粧品などの液体が内部にはいった場合、火災・感電の原因となります。重いものなどが置かれて落下した場合、けがの原因となります。



上載せ禁止

はじめに ～最初に必ずお読みください～

安全上のご注意・つづき

警告

使用するとき

電源コードは ・ 傷つけたり、延長するなど加工したり、加熱したりしない ・ 引っ張ったり、重いものを載せたり、はさんだりしない ・ 無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしない 火災・感電の原因となります。  禁 止	修理・改造・分解はしない 火災・感電の原因となります。 点検・調整・修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。  分解禁止 ディスクトレイなどから異物を入れない 金属類や紙などの燃えやすいものが内部にはいった場合、火災・感電の原因となります。 特にお子様がいるときにはご注意ください。  異物挿入禁止
雷が鳴りだしたら、本機、接続機器やコード類に触れない 感電の原因となります。  接触禁止	可燃性ガスエアゾールやスプレーを使用しない 清掃や可動部の潤滑用など、可燃性ガスを本機に使用すると、噴射される可燃性ガスが本機の内部に留まり、モーターやスイッチの接点や静電気の火花が引火して、爆発や火災が発生するおそれがあります。  禁 止
電池は乳幼児の手の届かない所に置いてください。 誤って飲み込むと窒息などの原因となります。 万一、電池を飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。  指 示	トレイ開閉口の前にもものを置かない トレイが開いた時に、ものに当たって倒れたり破損してけがの原因となります。  禁 止



警告

お手入れ

ときどき電源プラグを抜いて点検し、プラグやプラグの取付面にゴミやほこりが付着している場合はきれいに掃除する

電源プラグの絶縁低下によって、火災・感電の原因となります。
また、接触不良による故障の原因となります。
(電源プラグは待機状態のときに抜いてください。)



指示

はじめに ～最初に必ずお読みください～

安全上のご注意・つづき

⚠ 注意

設置するとき

風通しの悪い場所に置かない

内部温度が上昇し、火災の原因となることがあります。

- 壁に押しつけないでください。
- 押し入れや本箱など風通しの悪い場所に押し込まないでください。
- テーブルクロス・カーテンなどを掛けたりしないでください。
- じゅうたんや布団の上に置かないでください。
- あお向け・横倒し・逆さまにしないでください。



禁 止

湿気・油煙・ほこりの多い場所に置かない

加湿器・調理台のそばや、ほこりの多い場所などに置くと、火災・感電の原因となることがあります。



禁 止

高い場所に設置しない

本機が落下した場合に、けがの原因となるため、高い場所への設置はしないでください。



禁 止

温度の高い場所に置かない

直射日光の当たる場所・閉め切った自動車内・ストーブのそばなどに置くと、火災・感電の原因となることがあります。また、破損、その他部品の劣化や破損の原因となることがあります



禁 止

本機に接続するケーブルは正しく接続する

正しく接続しないと、本機や他の機器の故障や火災の原因となることがあります。



指 示

注意

使用するとき

移動させる場合は、電源プラグ・外部との接続線をはずす 電源プラグを抜かずに運ぶと、電源コードが傷つき火災・感電の原因となることや、接続線などをはずさずに運ぶと、本機が転倒し、けがの原因となることがあります。  指示	電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張って抜かない 電源コードを引っ張って抜くと、電源コードや電源プラグが傷つき、火災・感電の原因となります。電源プラグを持って抜いてください。  引っ張り禁止
ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない 感電の原因となることがあります。  ぬれ手禁止	旅行などで長期間不在の場合は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く 万一故障したとき、火災の原因となることがあります。  プラグを抜け
電源を入れる前には音量を最小にする 電源を入れる前には、接続しているアンプなどの音量を最小にしておいてください。突然大きな音が出て聴覚障害などの原因となることがあります。  指示	テレビやオーディオシステムの音量を上げすぎない 音量を上げすぎると、耳への刺激で聴覚機能に悪い影響を与えたり、ご近所の迷惑になります。特に夜間は、日中よりも音量を下げるようにしてください。  禁止

安全上のご注意・つづき

⚠ 注意

使用するとき

ディスクトレイに、手を入れない

指をはさみ、けがの原因となることがあります。
特にお子様がいらっしゃる際にはご注意ください。



禁止

ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しない

ディスクは本機内で高速回転しますので、飛び散ってけがや故障の原因となります。



禁止

リモコンに使用している乾電池は、

- ・ 指定以外の乾電池は使用しない
- ・ 極性〔(+)と(-)〕を間違えて挿入しない
- ・ 充電・加熱・分解・ショートしたり、火の中に入れない
- ・ 乾電池に表示されている【使用推奨期限】を過ぎたり、使い切った乾電池はリモコンに入れておかない
- ・ 種類の違う乾電池、新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しない
- ・ 乾電池は、直射日光の当たる場所や火の近くなどの高温になる場所に置かない

これらを守らないと、液もれ・破裂などによって、やけど・けがの原因となることがあります。

もし、液が皮膚や衣類についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。液が目にはいったときは、すぐにきれいな水で洗い眼科医の治療をうけてください。器具に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。



禁止



● 「安全上のご注意」をお読みになったあとは、「使用上のお願い」101 も同様に、必ずお読みください。

本製品の主な特徴

高画質

ハイビジョンテレビを使用して、高画質ディスクの視聴ができます。ハイスピードHDMI[®] ケーブルで接続してください。プログレッシブスキャン出力により、1 秒あたり 24 フレームで最大解像度 1080p の優れた画質をお楽しみいただけます。

BD-Java対応

Java アプリケーションを含む BD-Video では本編の視聴に加えて、ゲームや対話型コンテンツなど、双方向な機能を楽しむことができます。

DVDアップコンバートによる画質向上

映像のアップコンバートにより、現在の DVD をさらに高画質で視聴できます。

標準画質の DVD を、アップコンバートにより最大 1080p というハイビジョンに迫る高解像度に向上させて、HDMI[®] 接続で再生できます。

より洗練されリアリティの増した、ハイビジョンに近い高画質画像を楽しむことができます。

さまざまな種類のメディアの再生

ブルーレイディスクや DVD および CD などのお手持ちの音声や映像のコレクションがお楽しみいただけるようになっています。さらに、JPEG デジタル画像の表示、MP3 などの音楽ファイルの再生も可能です。

PIP (ピクチャー・イン・ピクチャー)

一部のブルーレイビデオには、主映像の内側に他の映像を表示できる PIP 機能が搭載されています。

映像に副映像が含まれている場合は、リモコンの [OSC] を押してオンスクリーンコントロールメニューから呼び出すことができます。

ポップアップメニュー

一部のブルーレイビデオにはポップアップメニューがあり、再生を中断せずにナビゲーションメニューをテレビ画面上に呼び出して操作できます。

リモコンの [ポップアップ] または [トップメニュー] を押すと、ポップアップメニューを呼び出すことができます。ポップアップメニューの内容は、ディスクによって異なります。

本製品の主な特徴・つづき

■AVCHD™ファイルの再生

本機は、ディスクに録画された AVCHD™ フォーマット（ハイビジョン対応カムコーダー用の新しいフォーマット）のファイルをサポートしているため、高精細画質の個人撮影ビデオもハイビジョン画質で再生できます。

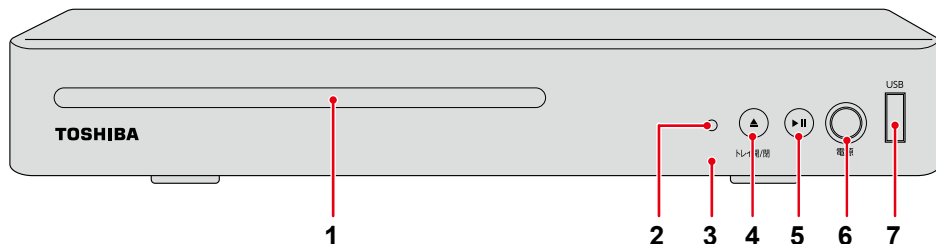
■HDMI®を介したHDテレビへの簡単接続

プレーヤーをHDMI®(High-Definition Multimedia Interface) ケーブル 1 本でハイビジョンテレビに接続してください。適合性を高めるため、ハイスピードHDMI® ケーブルの使用をお奨めします。

ハイビジョン（高解像度映像）出力信号は、アナログ信号に変換されずにお使いのハイビジョンテレビに転送され、優れた画質と音質をお楽しみいただけます。

各部のなまえとはたらき

本体前面



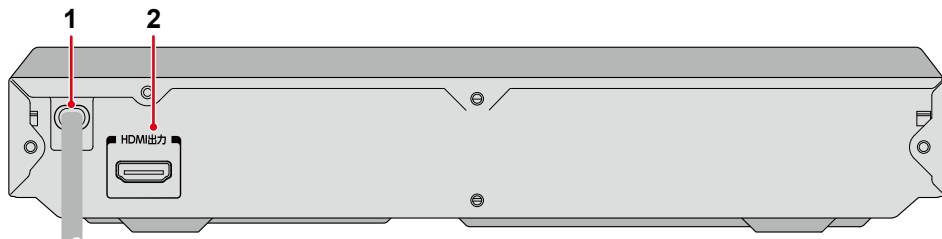
番号	部位名	機 能
1	ディスクトレイ	ディスクを入れます。
2	電源表示	本機の電源が「入」の状態のときは緑点灯表示、「切」の状態のときは消灯表示します。
3	リモコン受光部	リモコンからの赤外線信号を受信します。
4	ディスクトレイ 開 / 閉ボタン	ディスクトレイの開 / 閉をします。
5	再生 / 一時停止ボタン	再生を開始します。再生中にもう一度押すと、一時停止します。
6	電源ボタン	本機の電源を「入」の状態、または「切」の状態にします。
7	USB 端子	USB 機器を接続します。



- 本機の電源を完全に切るには、電源プラグを交流100Vのコンセントから抜きます。

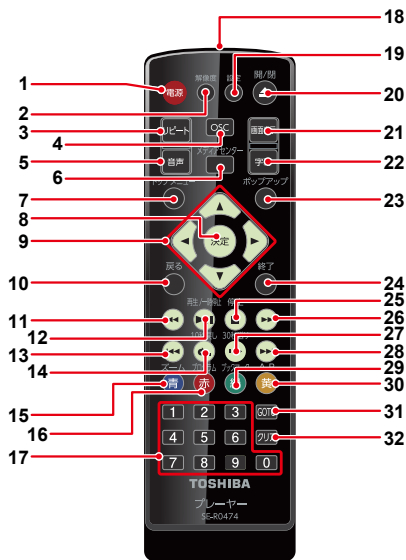
各部のなまえとはたらき・つづき

本体背面



番号	部位名	機能
1	電源コード	電源プラグを交流 100V のコンセントに差し込みます。
2	HDMI [®] 出力端子	テレビ、モニター、または AV レシーバー / アンプと接続して、映像信号と音声信号が出力されます。 HDMI [®] 入力端子を持つテレビ、モニター、または AV レシーバー / アンプに接続してください。

リモコン



番号	部位名	機能
1	電源ボタン	本機の電源を「入」の状態、または「スタンバイ」の状態にします。
2	解像度ボタン	HDMI [®] 映像出力の解像度をテレビに合わせて 1080p、1080i などに切り換えます。
3	リピートボタン	リピート再生の機能を設定します。
4	OSC ボタン	オンスクリーンコントロールメニューを表示します。
5	音声ボタン	サウンドストリームを選択します。繰り返し押し続けると、そのディスクで再生可能なオーディオストリームから選択します。
6	メディアセンターボタン	メディアセンターメニューを表示します。
7	トップメニューボタン	再生中のディスクタイトルを表示します。
8	決定ボタン	メニュー画面の選択を決定します。
9	方向ボタン ◀▶▲▼	ナビゲーション/カーソルボタンを上下左右に動かします。 JPEG 表示中に◀/▶を押すと、表示中の画面が回転します。
10	戻るボタン	1 つ前の画面に戻ります。

各部のなまえとはたらき・つづき

番号	部位名	機 能
11	早戻しボタン ◀◀	早戻しをします。
12	再生 / 一時停止ボタン ▶ /	再生 / 一時停止をします。
13	スキップ戻しボタン ◀◀	再生中、前のタイトル、チャプター、トラックにスキップします。
14	10 秒戻しボタン ◀.	10 秒戻して、再生します。
15	青 / ズームボタン	操作画面などで使用します。画面を拡大・縮小します。
16	赤 / プログラムボタン	操作画面などで使用します。プログラム一覧を表示します。
17	数字ボタン	メニュー内の数字付きの項目を選択します。タイトル、チャプター、トラックの番号、またはパスワードを直接入力します。
18	リモコン信号発光部	本体前面の受光部に向けてコントロール信号を送信します。
19	設定ボタン	システム設定メニューの表示 / 非表示をします。
20	トレイ開 / 閉ボタン ▲	ディスクトレイの開 / 閉をします。
21	画面表示ボタン	操作状況や情報を表示します。
22	字幕ボタン	字幕を表示します。繰り返し押すと、そのディスクで表示可能な字幕から選択します。

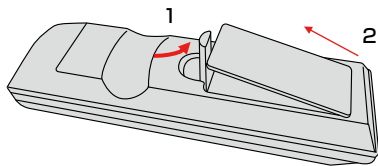
番号	部位名	機 能
23	ポップアップボタン	一部のブルーレイディスクや DVD ディスクに入っているメニューを表示します。
24	終了ボタン	メニュー画面を終了します。
25	停止ボタン ■	再生を停止します。
26	早送りボタン ▶▶	早送りをします。
27	30 秒送りボタン ▶▶	30 秒送って、再生します。
28	スキップ送りボタン ▶▶	再生中、次のタイトル、チャプター、トラックにスキップします。
29	緑 / ブックマークズームボタン	操作画面などで使用します。再生中に任意の位置にブックマークを登録します。
30	黄 / A-B ボタン	操作画面などで使用します。A-B リピートを設定します。
31	GOTO ボタン	任意の時間から再生することができます。
32	クリアボタン	入力した情報の消去や、設定済みのブックマーク、プログラムの消去を行います。

リモコンを準備する

電池の入れかた

単四形乾電池（1.5V 2本）を入れます。電池の＋、－をリモコンの電池収納部の表示に合わせてください。

1 ふたをはずす



2 一側を先に入れたあと、＋側を入れる

電池は以下の単四形乾電池（1.5V 2本）をお使いください。

- ・ マンガン乾電池
- ・ アルカリ乾電池

3 ふたを閉める



- 乾電池は、直射日光の当たる場所や火の近くなどの高温になる場所に置かないでください。
- 乾電池が完全に入らない状態で使うと、乾電池が発熱し、やけどや故障の原因となることがあります。
- オキシライド乾電池（ZR6）、エボルタ乾電池（LR6）などは、リモコン誤動作の原因となりますので、使用しないでください。



- 付属の乾電池は動作確認用です。早めに新しい乾電池と交換することをおすすめします。
- リモコンが正しく動作しない場合や、使用距離が短くなった場合は、乾電池を交換してください。
- 乾電池が消耗した場合やリモコンを長期間ご使用にならない場合は、必ず乾電池を取り出してください。
- 不要となった乾電池は、お住まいの地域条例にしたがって処理ください。

リモコンを準備する・つづき

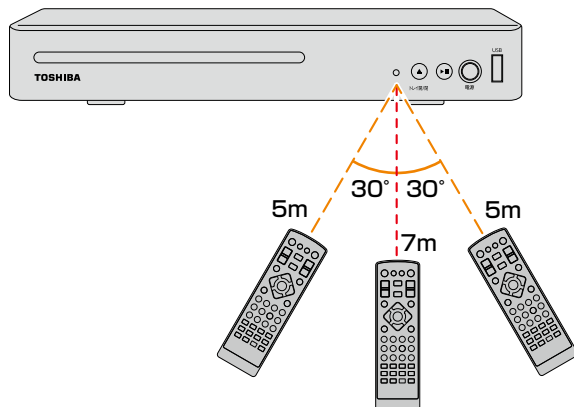
リモコンの使用範囲について

リモコンの性能を最大限に発揮するために、本体との間に障害物が無い状態で、リモコンをまっすぐ本体に向けてください。

最大使用距離は以下の通りです。

電池が消耗していない状態での距離と角度は以下の通りです。

- 距離 本機正面より7m以内
- 角度 本機正面より上下左右 約30°以内(5m以内)



ご注意

- リモコン受光部を直射日光などの強い光源に直接当てないでください。
受光部が破損し、リモコンによる操作ができなくなることがあります。
- 落したり、電氣的な衝撃を与えたりしないでください。
- 結露を防ぐため、温度や湿度が極度に高い場所に置かないでください。
- 水をかけたり、上にぬれたものを置いたりしないでください。
- リモコン本体を開けないでください(電池カバー以外)。
- リモコンを長期間で使用にならない場合は、乾電池の液漏れによる破損を防止するため、乾電池を取り出してください。

お知らせ

- リモコンの性能を最大限に発揮するために、本体との間に障害物が無い状態で、リモコンをまっすぐ本体に向けてください。
- リモコン使用時に続けて繰り返しボタンを押す場合は、正しく動作させるために約1秒の間隔を空けてください。

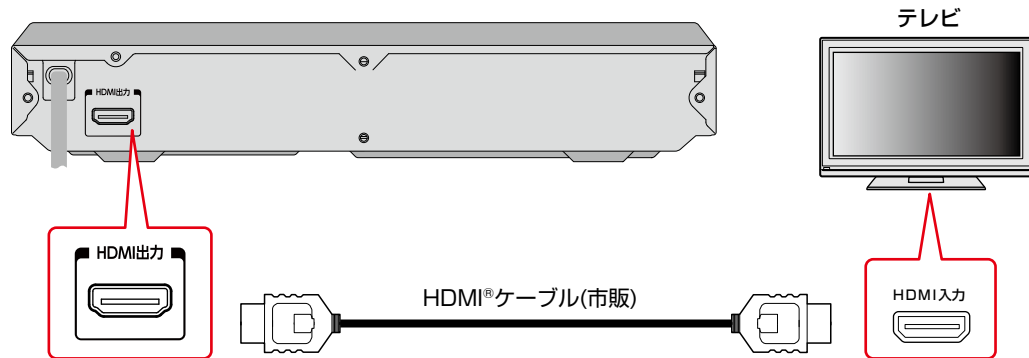
本機とつなぐ

テレビやAVアンプとつなぐ

本機の AV 機器への接続は、電源プラグを交流 100V のコンセントに接続する前に行ってください。

テレビとつなぐ

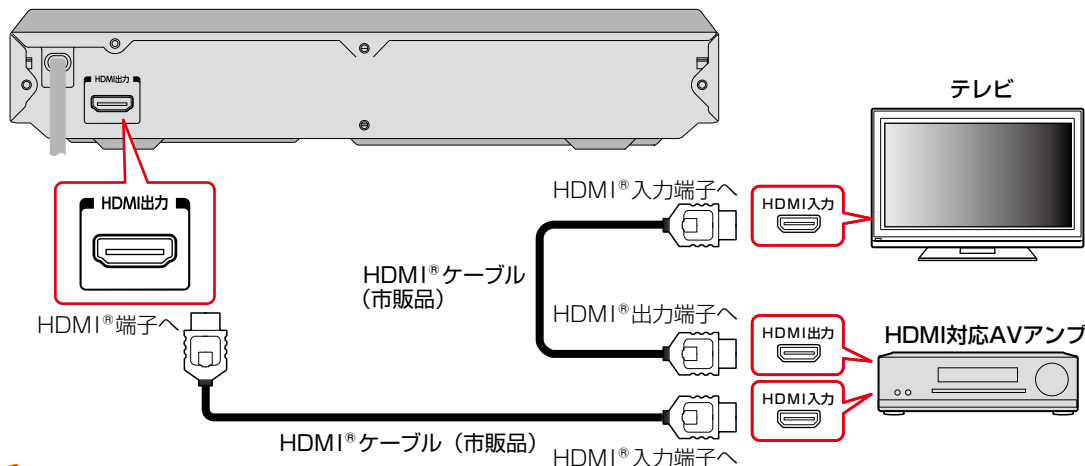
- HDMI[®]ケーブルで、本機のHDMI[®]出力端子とテレビのHDMI[®]入力端子を接続してください。
- HDMI[®]ケーブル1本で映像信号と音声信号をともに伝送できます。テレビのスピーカーを利用する場合、別オーディオ機器を接続する必要はありません。



本機とつなぐ・つづき

AVアンプとつなぐ

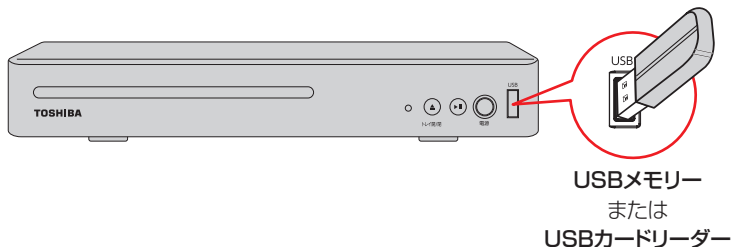
- 本機のHDMI[®]出力端子とAV アンプのHDMI[®]入力端子を、HDMI[®]ケーブルでつなぎます。
- 接続後は“音声” — “HDMI[®]” (55) の設定をしてください。



- HDMI[®]ケーブルを使って接続した場合は、テレビから音声が出ないことがありますので、アンプに接続したスピーカーなどから出力してください。くわしくはAVアンプやテレビに付属の取扱説明書をお読みください。
- HDMI[®]対応オーディオ機器によってはHDMI[®]連動機能をご利用できないことがあります。

USB機器とつなぐ

- USBメモリー（別売）やUSBカードリーダー（別売）を本機のUSB端子に接続してください。
- USB カードリーダーを接続すると、SDHCカード（別売）、または、SDカード（別売）を使うことができます。
- USBメモリー（別売）やUSBカードリーダー（別売）に保存されているMP3/JPEG/AVCHD™録画映像ファイルの再生が楽しめます。



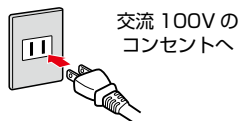
- USBメモリー（別売）やUSBカードリーダー（別売）以外のUSB機器は差し込まないでください。
- 全てのUSBメモリーとの接続を保証するものではありません。
- 全てのSDHCカード、または、SDカードを保証するものではありません。
- USB3.0の規格には対応しておりません(USB2.0準拠)。
- 対応しているフォーマットは次のとおりです。

USBメモリー	FAT16、FAT32
SDHCカード	FAT32
SDカード	FAT16、FAT32

本機とつなぐ・つづき

電源コードをつなぐ

- 電源プラグを、交流100Vのコンセントに差し込むと、本機が通電状態になります。



- 他のすべての接続が完了してから、電源プラグを交流100Vのコンセントに差し込んでください。
- 電源プラグは必ず交流100Vのコンセントに接続してください。交流100V以外のコンセントに接続すると本機が破損する恐れがあります。

ディスクの映像を再生する

ブルーレイディスクを再生するとき

本機でディスクを再生する前に、以下の内容をお読みください。



● Cinavia™の通告

この製品はCinavia™技術を利用して、商用制作された映画や動画およびそのサウンドトラックのうちいくつかの無許可コピーの利用を制限しています。無許可コピーの無断利用が検知されると、メッセージが表示され再生またはコピーが中断されます。

Cinavia™技術に関する詳細情報は、<http://www.cinavia.com>のCinavia™オンラインお客様情報センターで提供されています。Cinavia™についての追加情報を郵送でお求めの場合、Cinavia™ Consumer Information Center, P.O. Box 86851, San Diego, CA, 92138, USAまでがきを郵送してください。

ディスクとファイルの再生

- 本機は、次頁のディスク/ファイルに適合しています。
- ディスク/ファイルを再生するには、そのディスク/ファイルがリージョンコード  に適合していることを確認してください。次頁のロゴが記載されていないディスクは再生できません。



- 次頁の種類以外のディスク再生は保証できません。次頁に記載されているディスクでも、規格外のディスクの再生は保証できません。

ディスクの映像を再生する・つづき

ロゴ	再生可能なディスク
	BD-Video BD-R (Ver 1.1/1.2/1.3) : BDMV または BDAV 方式で記録されたディスク BD-RE (Ver 2.1) : BDMV または BDAV 方式で記録されたディスク
	DVD-Video
	DVD-RW : Video モード / VR モード / AVCREC モード / AVCHD™ モードで記録されたディスク (ファイナライズされているディスク)
	DVD-R : Video モード / VR モード / AVCREC モード / AVCHD™ モードで記録されたディスク (ファイナライズされているディスク)
	Video CD
	CD-DA (オーディオ CD)
 	CD-RW
 	CD-R



- 本機はBD-Live™には対応していません。
- ファイナライズ(記録する側で記録終了情報を記録)されていないDVD-RW/DVD-Rは再生できません。ファイナライズ(クローズ)されていないBD-Rは再生できないことがあります。ファイナライズについては、記録する機器の取扱説明書をご覧ください。
- 使用するディスク、記録状態、記録方法やファイルの作成方法などにより再生できない場合があります。
- HDコンテンツおよびアップコンバートDVDコンテンツの視聴には、お使いの表示装置にHDCP対応入力部が必要な場合があります。
- アップコンバートDVD映像コンテンツはHD画質に近い画質に見えますが、その程度はコンテンツ、画面、および設定によって異なることがあります。

再生可能な ファイル	メディア
AVCHD™	DVD-RW/DVD-R、USB
MP3	BD-RE/BD-R、DVD-RW/DVD-R、 CD-RW/CD-R、USB
JPEG	BD-RE/BD-R、DVD-RW/DVD-R、 CD-RW/CD-R、USB
AVCREC™	DVD-RW/DVD-R、USB

- MP3、JPEGは「メディアセンター」**42**で再生できます。
- 記録可能なメディアまたはタイトルがサポートされない場合があります。

リージョンコード

- BD-Video
本機のリージョン(地域)コードはAです。
「A」や「A」を含むリージョンマークが表示されたディスクの再生ができます。
(例)



- DVD-Video
本機のリージョン(地域)コードは2です。
「2」や「2」を含むリージョンマーク、または「ALL」が表示されたディスクの再生ができます。



ディスクの映像を再生する・つづき

基本的な再生

ディスクを視聴する場合、テレビの電源を入れて、本機に接続されているビデオ入力を選択します。

1 本体前面またはリモコンの  を押して、**本機を起動する**

- 起動までには20秒程度かかります。

2 テレビの電源を入れ、本機に接続された外部入力に合わせて入力設定を切り換える

3  を押し、ディスクトレイを開く

4 ディスクを、ラベル面を上にしてトレイの上に置き、 を押してディスクトレイを閉める

- 読み込みにかかる時間は、ディスクの種類によって異なります。ブルーレイディスクの読み込みはDVDやCDなどよりも時間がかかります。

5 ディスクが自動再生しない場合は、 を押して再生を開始する

6 ブルーレイディスクまたはDVDのメニューが表示された場合、カーソルボタンを使って「再生」を選択して、 を押して確定する

7 ディスクを取り出すときは、 を押す

一時停止する

1

再生/一時停止



を押して一時停止する

2

再生/一時停止



を押して再生を再開する

静止画オフ

1

静止画オフモードのままになっている場合、
再生/一時停止
 ボタンを押すと再生を続けます。

再生の停止

1

停止



ボタンを1度押すとレジュームモードになります。テレビ画面にはレジュームロゴが表示されます。

再生/一時停止



を押すと、再生は停止位置から再開します。

2

停止



ボタンを2度押すと、再生が完全に停止します。

- ・ ▲・▼ ボタンを押してBD/DVDを選択し、決定 ボタンを押してください。ディスクの最初から再生が始まります。
- ・ レジューム機能を備えていないブルーレイディスクもあります。

早送りと早戻し

1



ボタンを押すと、ディスク全体の早送りをします。早送りの速度は、ボタンを押す回数によって変化します。

2



ボタンを押すと、ディスク全体の早戻しをします。早戻しの速度は、ボタンを押す回数によって変化します。

速度はボタンを押すたびに次の順序で速くなります：2X、4X、8X、16X、32X。

ディスクの映像を再生する・つづき

- 3** 再生/一時停止  ボタンを押すと、通常の再生を再開します。

30秒送りと10秒戻し

- 1** 30秒送り  ボタンを押すと、30秒先から再生します。
- 2** 10秒戻し  ボタンを押すと、10秒前の映像からリプレイします。

スキップ

- 1** 再生中に  ボタンを1度押すと、再生しているチャプターまたはトラックの先頭にスキップします。(繰り返し押すと、前のチャプターまたはトラックの先頭にスキップします。)

- 2** 再生中に  ボタンを押すと、次のチャプターまたはトラックにスキップします。

BONUSVIEW™ ブルーレイディスク

本機は、BONUSVIEW™（ボーナスビュー）機能付きのブルーレイディスク ビデオに対応しています。

BONUSVIEW™ ディスクでは、本編以外のストーリーや解説、別のアングルや音声などのサブコンテンツを、同時進行で楽しめます。

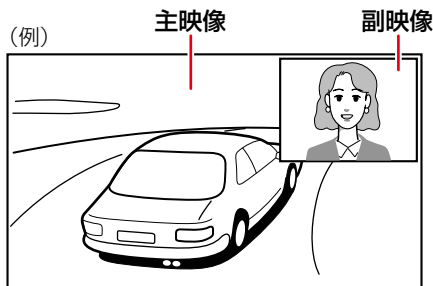
以下の操作説明は一般的な例です。使用するディスクによって操作方法は変わりますので、ディスク側の説明書や画面表示に従って操作してください。

- 1** BONUSVIEW™対応のディスクの再生中に、 を押す

サブコンテンツ(副映像)が記録されている場面では、画面に「PIP」マークが表示されます。(再生設定は  をご覧ください。)

2 ▲・▼で[副映像]を選び、決定を押す。

3 ▲・▼を押して、副映像を選び、決定を押す。
副映像が表示されます。



4 [OSC]を押す。

5 ▲・▼で[副音声]を選び、決定を押す。

6 ▲・▼で副音声を選び、決定を押す。
副映像の音声(副音声)に切り換わります。



- 早送り/早戻しやスローなど、速さを変えて再生しているときは、副映像を表示させることはできません。
- 副映像の音声を楽しむためには、「音声出力」
54「HDMI」55を「PCM」に設定する必要があります。
- BONUSVIEW™に対応していないブルーレイディスクもあります。事前にディスクを確認して操作してください。
- 高画質PIP（副映像）には対応していません。

ディスクの映像を再生する・つづき

BD-R/RE、DVD-R/RWを再生する

ブルーレイディスク DVD

以下のディスクは、この操作方法で再生してください。

BD-R、BD-RE

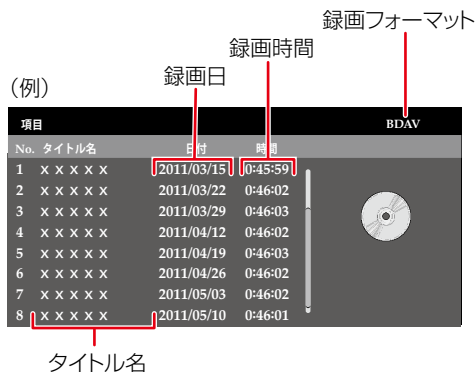
おもにブルーレイディスクレコーダーなどで録画されたディスク（BD-RE/BDMV フォーマット）

DVD-R、DVD-RW

おもに DVD レコーダーなどで録画されたディスク（VR モード / AVCREC™ モード）

1 上記のディスクを本機のディスクトレイに入れる

自動的にタイトル名リストが表示されます。
ディスクの種類によっては、タイトルリストの表示前に、「フォルダー_1」と表示されることがあります。
その場合には、そのまま **決定** を押してください。



- 録画されているタイトルが多い場合は、**◀◀** / **▶▶** でページが切り換わります。
(**▲**・**▼**でも画面のスクロールができます。)

2 再生するタイトル名を▲・▼で選び、決定を押す

選んだタイトルの再生が始まります。

タイトル名リストを再表示するには

トップメニュー

再生中に、●を押す

- 停止中から表示させるときには、一度  を押しください。



- ビデオモードやAVCHD™で録画されたDVD-R/RWディスクは、「ディスクの映像を再生する」「基本的な再生」  と同じ操作で再生できます。
- タイトル名は、すべての文字が表示できるとは限りません。

再生するときに便利な機能

画面表示ボタン

-  を押すと、画面にはタイトル番号、チャプター番号、トラック番号、経過時間、モード、オーディオ、アングル、および字幕言語などのディスク情報が表示されます。
 をもう一度押すと、情報の表示が消えます。

トップメニューボタン

トップメニュー

● はブルーレイディスクまたはDVDディスクの再生中いつでも操作可能です。押すと、ディスクメニューが表示されます。

ディスクの映像を再生する・つづき

ポップアップメニューボタン

ブルーレイディスクの再生中に ポップアップ  を押すと、ポップアップメニューが表示されます。メニューの表示中も再生は継続します。

1 ▲・▼・◀・▶ を押して選択してから、決定  を押して確定する

2 ポップアップ  を押して、メニューを閉じる

- DVD再生中に ポップアップ  を押すと、ディスクメニューが開きます。
- メディアセンターでUSBおよびデータディスクのコンテンツを表示中に ポップアップ  を押すと、写真/音楽/映像ファイルをプレイリストに加えることができます。

1 ▲・▼・◀・▶ を押して、写真/音楽/映像ファイルのオプションを選択する

2 ファイルブラウザで▶を押して、プレイリストに追加するファイルを選択すると、選択したファイルの横に「√」が表示される

3 ポップアップ  を押してポップアップメニューを表示してから、▲・▼と 決定  で「プレイリストに追加」を選択して、ファイルをプレイリストに追加する

- 「すべて選択」と「すべて消去」も選択できます。
- ポップアップを終了する場合は、「取消」を選択してください。
- 選択したすべてのファイルが、「プレイリスト」フォルダーに追加されます。
- プレイリスト内のファイルは、再生または削除できます。
- ポップアップ  を押して、「プレイリスト」から選択したファイルを削除してください。

リピートボタン

 を繰り返して押すと、リピートモードが選択できます。

ブルーレイディスク

チャプターとタイトルをリピートします。

DVD

チャプター、タイトル、および全体をリピートします。

GD-DA/JPEG/MP3

トラックおよび全体をリピートします。



- 市販のBD-Jでは機能しません。
- DVDディスクによっては、全体リピートが動作しない場合があります。

A-Bボタン

- 映像または音楽の特定の部分を再生するには、 を押して開始位置を設定します。

次に  をもう一度押すと、終了位置を設定します。これで設定完了です。

選択した部分を繰り返し再生します。

-  をさらにもう一度押すと、機能を解除します。
- 終了位置は、開始位置からの再生時間が5秒以内の位置には設定できません。
- A-Bリピート機能に対応していないブルーレイディスクもあります。

GOTOボタン

再生中に以下の操作を行います。

1

 を押して、タイトル、チャプター、時間を編集する

ディスクの映像を再生する・つづき

2 リモコンの◀▶および決定を押して、タイトル、チャプター、時間を選択する

3 数字ボタンまたは▲▼を押してから決定を押すと、再生位置が希望の位置にスキップする

4 タイムサーチを行なう際は、▲▼を押してタイトルまたはチャプターのタイムサーチを選択する

字幕ボタン

字幕 を繰り返し押すと、画面に「X/XX XXX」または「オフ」が表示されます。

- 「X」は現在選択されている言語の番号です。
- 「XX」は登録されている言語の総数です。
- 「XXX」は言語です。
- 利用可能な言語の数は、ディスクによって異なります。

戻るボタン

- ^{戻る} を押すと、「USBメモリ」、「視聴制限」など直前に表示されていたメニューに戻ります。
- MP3/JPEG/ビデオの再生中に ^{戻る} を1度押すと、「メディアセンター」ページに戻ります。

音声ボタン

リモコンの **音声** を押して、ブルーレイディスクまたは DVD ディスクに入っているオーディオストリームを選択します。画面には次のように表示されます。

音声：X / XX XXX XXXX

- 「X」 - 現在のオーディオストリームの番号
- 「XX」 - オーディオストリームの総数
- 「XXX」 - 音声の言語
- 「XXXX」 - オーディオテクノロジー

ズームボタン

ズーム

青 を押すごとに、映像を拡大・縮小します。

ズームモード

2 倍 → 3 倍 → 4 倍 → 1/2 倍 → 1/3 倍 → 1/4 倍

プログラムボタン

DVD/CD ディスクの再生中に ^{プログラム}**赤** を押すと、プレイリストの再生順を編集できます。

ブックマークボタン

DVD ディスクの再生中に ^{ブックマーク}**緑** を押すと、ブックマークが追加されます。^{ブックマーク}**緑** を数秒間長押しすると、画面にはこれまで追加したブックマークの一覧が表示されます。次に、**決定** を押してブックマークを選択するか、**クリア** を押してブックマークを削除してください。

ディスクの映像を再生する・つづき

OSCボタン

- [OSC]を押すと、オンスクリーンコントロールメニューが表示されます。このメニューでは、再生関連の設定項目を設定します。オンスクリーンコントロールには次の項目が含まれています。

タイトル

- 再生中のタイトル番号/総タイトル数。
- 再生するタイトルを選択します。

チャプター

- 再生中のチャプター番号/総チャプター数。
- 再生するチャプターを選択します。

時間

- タイトル/チャプターの経過時間/残時間。
- ▲・▼を押して、タイトルの経過時間、タイトルの残時間、チャプターの経過時間、チャプターの残時間を切り換えます。

モード

- 再生状態を、シャッフル、ランダム、ノーマルから選択します。

音声

- ブルーレイディスク/DVDディスクに記録されている音声言語。
- ▲・▼でディスクに記録されている音声を表示させ、聞きたい音声言語を選びます。

アングル

- 現在のカメラアングル番号/カメラアングルの総数。
- ▲・▼で再生したいカメラアングルを選択します。

字幕

- 再生中の字幕。
- ▲・▼でディスクに記録されている字幕を表示させ、見たい字幕を選択するか、字幕表示を解除します。

字幕タイプ

- 再生中のブルーレイディスクまたはDVDディスクに追加字幕がある場合は、オンスクリーンコントロールメニューに表示されます。

副映像

- ▲・▼で、副映像を選び副映像を表示させます。

副音声

- ▲・▼で、副音声を選び副音声に切り換えます。

ビットレート

- ▲・▼で、音声または映像のビットレートを選択します。

静止画オフ

- 静止画を解除します。
- 一部のブルーレイディスクまたはDVDディスクでは、特定の場面が視聴しやすいように、その場面で静止するようプログラムされています。
- 静止画を解除して再生を続ける場合は、「静止画オフ」を選択します。

30秒送り

- 30秒前から再生します。

10秒戻し

- 10秒前から再生します。



- ディスクの種類によって各項目の設定内容は異なります。また、一部の項目はディスクがサポートしている場合に限り使用できます。

ディスクの映像を再生する・つづき

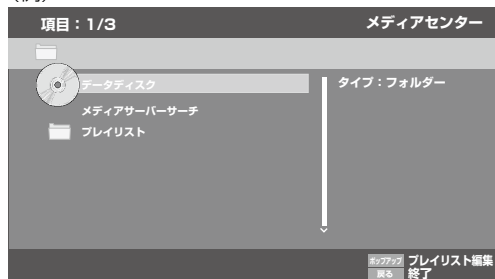
MP3/JPEGファイルを再生する

本機では、ディスクまたは USB 機器に記録した MP3/JPEG ファイルを再生できます。

- 1 MP3/JPEGファイルが入ったディスクを読み込むか、USB機器を入れる

- 2  を押して、「メディアセンターメニュー」を表示する。

(例)



- 3 ▲・▼を押して、「データディスク」または「USB1」を選択し、 を押す

- 4 ▲・▼でファイル(またはフォルダー)を選択し、 を押すか  で再生を開始する



- すべてのメディア形式が対応しているわけではありません。
- 再生中に◀▶で写真を90°ずつ回転することができます。
(スライドショーは一時停止します)
- 再生中に[OSC]ボタンを押すとオンスクリーンコントロールメニューが表示されます。
JPEGファイル再生時は、スライドショー時の画像切替速度と効果を切り替えることができます。

ここでは、本機のさまざまな設定項目を説明します。
以下が基本の手順です。各画面下部に表示される操作ガイドも参照してください。

1 停止中に^{設定}●を押して設定画面を表示する

2 ◀・▶で、設定の種類を選ぶ

種類と設定項目は、それぞれ以下のページをご覧ください。

基本設定

44

映像設定

51

音声設定

54

システム情報

55

3 設定する項目を▲・▼で選び、▶または^{決定}●を押す

設定項目にカーソルが移動します。

- 他の項目に戻りたいときは、◀または^{戻る}●を押します。

4 ▲・▼で設定内容を選び、または^{決定}●を押す

設定する内容の詳細は、▲・▼または数字ボタンで操作します。

5 ^{決定}●を押す

設定が保存されます。

6 ^{終了}●を押して、設定画面を閉じる

設定は完了です。



- 再生中には設定できない項目があります。
また、本機や接続機器の状態において利用できない項目は灰色で表示され、選択することができません。

カスタマイズする

システムを設定する

1 「基本設定」メニューから、▲・▼で「システム」を選び、または▶を押す
設定項目にカーソルが移動します。

2 ▲・▼で設定内容を選び、▶またはを押す

3 ◀または^{戻る}を押して、直前のメニューに戻る

スクリーンセーバー

スクリーンセーバーは、テレビ画面の保護に役立ちます。
オンとオフを切り替えることができます。

オン

無操作の状態が約 5 分間続くと、スクリーンセーバーが働きます。

- スクリーンセーバーの起動後約20分経過しても操作が

行われない場合、本機は電源が切りの状態に切り替わります。

オフ

スクリーンセーバーモードを無効にします。

- 無操作の状態が続いても、電源が切りの状態に切り替わりません。

ディスク自動再生

ディスク自動再生のオンとオフを切り換えます。

オン

ディスクを入れると自動的に再生が始まります。

オフ

ディスク自動再生モードを無効にします。

HDMI[®] 連動

HDMI CEC（コンシューマー・エレクトロニクス・コントロール）技術を利用した機能で、HDMI[®] 接続を介して、テレビとの連動操作が可能になります。

オン

HDMI[®] 連動機能を有効にします。

本機が電源オフ（待機状態）のときに「電源」を入れると、接続したテレビ（HDMI 連動対応品）の電源が自動的にはいり、テレビの入力が、接続した本機の入力に切り換わります。

- テレビの電源を切ると、本機の電源も切れます。

オフ

HDMI[®] 連動機能を無効にします。



- CEC 規格に準拠した機器と接続したときは、一部の連動動作が行えますが、当社対応品以外については動作を保証するものではありません。
- この機能をお使いになるにはテレビ側の設定も必要です。詳しい操作については、テレビの取扱説明書もご覧ください。

初期設定に戻す

本機をお買い上げ時の状態に戻します。本機に設定した情報が全て消去されます。

ソフトウェアの更新

性能の向上のため、本機のソフトウェア（プログラム）を最新のものにするアップデート機能を実行します。

アップデートプログラムのはいったメディアを本機に入れてから、設定画面を開き、この項目を選んでください。

ディスク

アップデートプログラムのはいったディスクからアップデートをします。

USBメモリ

アップデートプログラムのはいった USB メモリからアップデートをします。

カスタマイズする・つづき

BUDA

BONUSVIEW™ 機能を楽しむために、256MB 以上の空き容量がある USB メモリを本機に接続しておくことを推奨します。本機に USB メモリを接続すると、自動的に BUDA と呼ばれるディレクトリが作られます。

空き容量は "BUDA 情報" で確認できます。

BUDA 情報

USB メモリの空き容量が表示されます。

BUDA 情報を消去するには、[BUDA 消去] を選び、

を押します

言語を設定する

この設定で、各メニュー画面の言語を選択できます。

- 1 「基本設定」メニューから、▲・▼で「言語」を選び、または▶を押す

設定項目にカーソルが移動します。

- 2 ▲・▼で設定内容を選び、▶またはを押す

- 3 ▲・▼で設定する言語を選択する

- 4 ◀または^{戻る}を押して、直前のメニューに戻る

画面表示

オンスクリーンメニューの言語を選択します。

ディスクメニュー

ディスクメニューの言語を選択します。

音声

任意の音声言語を選択します。

字幕

任意の字幕用言語を選択します。

再生を設定する

- 1 「基本設定」メニューから、▲・▼で「再生」を選び、 または ► を押す
設定項目にカーソルが移動します。

- 2 ▲・▼で設定内容を選び、► または  を押す

- 3 ▲・▼で「オン/オフ」を選択し、 を押し
て確定する

- 4 ◀ または  を押して、直前のメニューに
戻る

アングルマーク

ブルーレイディスク / DVD に複数のカメラアングルで記録されたシーンが入っている場合、見る角度を選ぶことができます。ブルーレイディスク / DVD ディスクが複数アングルに対応しており、マーク表示がオンに設定されている場合に限り、アングルマークが表示されます。

オン

アングルマークを表示します。

オフ

アングルマークを表示しません。

カスタマイズする・つづき

PIPマーク

- PIP（ピクチャー・イン・ピクチャー）モード表示ではテレビ画面に同時に2画面を表示します。全画面表示の映像を「主映像」、小さい挿入画面を「副映像」と呼びます。
- PIPマークがオンに設定されている場合、PIPモード中はPIPが表示されます。

オン

PIP マークを表示します。

オフ

PIP マークを表示しません。

副音声マーク

副音声が使える場面を再生中に、副音声マークで示すことができます。

オン

副音声マークを表示します。

オフ

副音声マークを表示しません。

ラストメモリー

通常再生中にディスクトレイをあけたり、本機を待機状態に切り換えたりした場合に、再生の止まった位置を記憶し、次の再生を止めた位置から開始する機能です。

オン

ラストメモリー機能を有効にします。

オフ

ラストメモリー機能を無効にします。



- この機能に対応していないブルーレイディスクもあります。

PBC

PBC2.0 のビデオ CD では、PBC のメニュー機能が楽しめます。(PBC とは Playback Control の略です。)

オン

メニューが表示されます。数字ボタンで機能を選んでください。

オフ

メニューは表示されず、トラック 1 から再生が始まります。

視聴制限を設定する

- 1 「基本設定」メニューから、▲・▼で「視聴制限」を選び、または▶を押す

設定項目にカーソルが移動します。

- 2 ▲・▼で設定内容を選び、▶またはを押す

- 3 ◀またはを押して、直前のメニューに戻る

パスワード変更

テレビ画面の説明に従って、ロックされたディスクおよび再生制限付きブルーレイディスク/DVD のパスワードを変更します。

- 1 数字ボタンを使用して、4桁の旧パスワードを入力する

初期設定のパスワードは「0000」です。

- 2 新しいパスワードを入力する

- 3 確認のため、新しいパスワードを再入力する

パスワードを忘れた場合は、「初期設定に戻す」を行い、初期設定の「0000」に戻した後、再設定をしてください。

視聴年齢

子供の視聴に適していないディスクの視聴を制限します。ディスクに規制レベルが設定されている必要があります。

カスタマイズする・つづき

1 数字ボタンを使用して、パスワードを入力する

2 規制レベルを選択して を押す

- (1) 子供向け
お子様が視聴されても問題のない内容です。
- (2) G
一般的に視聴できる内容です。
- (3) PG
保護者の方の判断による視聴を推奨します。
- (4) PG-13
13歳未満の方の視聴には不適切な表現が含まれています。
- (5) PGR
保護者同伴での視聴を推奨します。
- (6) R
18歳未満の方が視聴するには保護者の指導が必要です。
- (7) NC-17
18歳未満の方は視聴できません。
- (8) 成人向け
成人のみが対象です。



- 「視聴制限」で設定したレベルより高い規制レベルのディスクを視聴するにはパスワードが必要です。
- 規制レベルは国によって異なります。
- すべてのディスクを視聴できるようにするには、「オフ」を選択してください。

国/地域

お住まいの国/地域に合った内容が再生されるように設定できます。

1 数字ボタンを使用して、パスワードを入力する

2 国/地域を選択して を押す

映像出力を設定する

テレビまたはスクリーンの画像表示方法を設定します。

1 「映像設定」メニューから、▲・▼で「映像出力」を選び、または▶を押す

設定項目にカーソルが移動します。

2 ▲・▼で設定内容を選び、▶またはを押す

3 ▲・▼で設定する項目を選び、▶またはを押す

4 ◀または^{戻る}を押して、直前のメニューに戻る

画面形状

テレビで映像を再生する際に表示したい画面形状を選択します。

16:9ワイド

画面比 4:3 の映像は、16:9 の画面いっぱいに横伸びして再生されます。

16:9シュリンク

画面比 4:3 の映像は、16:9 画面の上下幅に収まるようにリサイズして表示されます。

4:3ノーマル

4:3 標準テレビで 16:9 ワイド映像を見るときに、上下方向を画面いっぱいに映し、左右方向を一部カットします。

4:3レターボックス

4:3 標準テレビで 16:9 ワイド映像を見るときに、左右方向を画面いっぱいに映し、上下方向に黒い帯を表示します。

カスタマイズする・つづき

解像度

お使いのテレビ画面の能力に合わせて、映像出力解像度を選択します。

自動

テレビに最も合った解像度を自動的に選択します。

480i、480p、720p、1080i、1080p

テレビに最も合った映像解像度設定を選択します。
詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。



- 1080pでの視聴には、1080p対応ディスプレイが必要です。
- リモコンの  ボタンでも解像度の設定をおこなうことができます。  ボタンを繰り返し押すことで、解像度が切り替わります。

カラースペース

画像のカラースペースを RGB、YCbCr、YCbCr422、フル RGB から選択します。

HDMI[®]ディープカラー

この機能は、ディープカラー対応表示機器を HDMI[®] ケーブルで接続している場合のみ使用できます。

30ビット

お使いのテレビで 30bit 階調の表現ができる場合に設定します。

36ビット

お使いのテレビで 36bit 階調の表現ができる場合に設定します。

オフ

HDMI[®] ディープカラーは使用しません。



- “カラースペース” を “YCbCr422” に設定している場合は、この “HDMI[®]ディープカラー” の設定はできません。

HDMI® 1080/24p

- 映画は毎秒24フレームで記録されています。ブルーレイディスクの映画も、多くがこのフレームレートでディスクに記録されています。
- 本機と1080/24pに対応しているテレビを接続すると、高品質でより自然に近い映像を楽しむことができます。

オン

映像の解像度を 1080/24p に設定できます。

オフ

映像の解像度を 1080/24p に設定できません。



- 1080/24p出力の視聴には1080p/24pで収録されたコンテンツと1080/24p信号の受信能力を持つHDディスプレイが必要です。

映像処理を設定する

調整したい映像処理を選択します。

- 1 「映像設定」メニューから、▲・▼で「映像処理」を選び、または▶を押す

設定項目にカーソルが移動します。

- 2 ▲・▼で設定内容を選び、▶またはを押す

- 3 ▲・▼で設定する項目を選び、▶またはを押す

- 4 ◀またはを押して、直前のメニューに戻る

カスタマイズする・つづき

映像調整

明るさ

◀・▶で画面の明るさが調整できます。左に動かすと画面が暗くなり、右に動かすと明るくなります。

コントラスト

◀・▶で画面のコントラストが調整できます。左に動かすとコントラストが低くなり、右に動かすと高くなります。

色合い

◀・▶で画面の色合いが調整できます。左に動かすと緑っぽくなり、右に動かすと紫っぽくなります。

色の濃さ

◀・▶で画面の色の濃さが調整できます。左に動かすと鮮やかさが低くなり、右に動かすと高くなります。

音声出力を設定する

1 「音声設定」メニューから、▲・▼で「音声出力」を選び、または▶を押す
設定項目にカーソルが移動します。

2 ▲・▼で設定内容を選び、▶またはを押す

3 ▲・▼で希望する音声設定を選び、▶またはを押す

4 ◀または^{戻る}を押して、直前のメニューに戻る

HDMI®

音声出力の方式を選択します。

ビットストリーム

お使いの HDMI® 機器が Dolby® または DTS® に対応している場合に選択してください。

PCM

お使いの HDMI® 機器が PCM のみに対応している場合に選択してください。

オフ

HDMI® 出力端子からの出力を行いません。

DRC

音量を下げても音声の明瞭度が損なわれないようにするダイナミックレンジコントロール (DRC) 機能を設定します。

オフ

ダイナミックレンジコントロール機能を無効にします。

オン

ダイナミックレンジコントロール機能を有効にします。

自動

DRC の入 / 切を入力する音声に応じて自動で行います。
この設定は、Dolby® TrueHD にだけ有効です。

システム情報

本機の現在のソフトウェアのバージョンが確認できます。

◀▶ で他の設定画面に切り換わります。

終了するときは、終了 を押して設定画面を消します。

症状に合わせて解決法を調べる

本機の使用中に下記のような症状が起きた場合は、下記一覧に従って点検してください。

● 本機に接続している機器の取扱説明書もよくお読みください。

こんなときは	ここをお調べください
リモコンを操作しても反応しない	本機をコンセントに接続してください。
	リモコンを本機にまっすぐ向けてください。
	電池を正しく入れてください。
	リモコンに新品の乾電池を入れてください。
映像が映らない	テレビの電源を入れてください。
	テレビの入力を、本機を接続した入力に切り替えてください。
	適切な映像解像度を選択してください。
	ほかのHDMI[®]ケーブルに取り換えて、接続しなおしてみてください。
	本機をHDCP非対応の表示装置にHDMI[®]ケーブルで接続した場合、音声/映像信号は正常に出力されません。
	テレビ/AVアンプのHDMI[®]入力仕様に合わせて本機の解像度設定を変更してください。

こんなときは	ここをお調べください
ハイビジョン画質で見ることができない	• ディスクがハイビジョンで記録されているかご確認ください。 • ディスクがハイビジョンで記録されていない場合、ハイビジョン画質で見ることができません。 • テレビがハイビジョンに対応しているかご確認ください。 • ハイビジョン対応テレビでない場合、ハイビジョン画質で見ることができません。
ディスクを再生できない	• 本機がそのディスクに対応していることを確認してください。 • DVDまたはブルーレイディスクのリージョンコードが本機に適合しているか確認してください。 • ディスクの汚れを拭き取ってください。
ディスクから JPEG ファイルを再生できない	• ディスクがJPEG/ISOフォーマットで記録されたものであるか確認してください。
JPEG ファイルが見つからない	• 選択したグループ(フォルダー)内のファイル数がDVDの場合で9,999、CDの場合で999を超えていないことを確認してください。 • ファイルの拡張子が、.jpg、.JPG、.jpeg、.JPEGのいずれかであることを確認してください。

症状に合わせて解決法を調べる・つづき

こんなときは	ここをお調べください
ディスクから MP3 ファイルを再生できない	• ディスクがISOフォーマットで記録されたものであるか確認してください。 • MP3ファイルのビットレートが8 ～ 320kbpsの範囲内か確認してください。 • MP3ファイルのサンプリング周波数が32kHz、44.1kHz、または48kHzであることを確認してください。
MP3 ファイルが見つからない	• 選択したフォルダー内のファイル数がDVDの場合で9,999、CDの場合で999を超えていないことを確認してください。 • ファイルの拡張子が、.mp3または.MP3であることを確認してください。
設定メニューの項目が選択できないことがある	• DVDディスクまたはブルーレイディスクの再生中に  を1回押すと、本機は再生待機状態になります。その間は、設定メニューの項目のうち言語、音声、字幕などの設定は変更できません。
	• 変更する場合は、 を2回押して本機を完全な再生停止状態にしてください。

用語解説

数字・アルファベット順

AVCHD™

高解像度 HD 映像の録画・再生が可能なハイビジョン対応カムコーダー向けの新しいフォーマットです。

BD-J

BD-Video には Java アプリケーション（これを BD-J と呼びます）を含むものがあり、通常のビデオ操作に加えていろいろな双方向の機能を楽しむことができます。

Dolby® TrueHD（ドルビートゥルーエイチディー）

Dolby® TrueHD は、次世代光学ディスク用に開発されたロスレスコーディング技術です。ブルーレイディスクは 7.1 マルチチャンネルサラウンド音声出力に対応していません。

DTS®

DTS® は、マルチチャンネルサラウンド音声システムです。DTS® デコーダーに接続すれば、映画館のような大迫力の臨場感あるサウンドが楽しめます。DTS® サラウンド音声技術は、DTS® 社が開発したものです。

HDCP

高帯域幅デジタルコンテンツ保護（High-bandwidth Digital Content Protection）の略称です。機器間のデジタルコンテンツの送受信を安全なものにする技術です（不正コピーを防止します）。

HDMI®

High-Definition Multimedia Interface の略称です。非圧縮のハイビジョン信号とマルチチャンネルのデジタル音声を送信できる高速デジタルインターフェイスです。高画質と高音質をもたらします。HDMI® は DVI と完全な上位互換性があります。HDMI® の規格上の要件から、HDMI® または DVI 製品を HDCP（High bandwidth Digital Content Protection）なしで接続した場合、映像および音声の信号は出力されません。

用語解説・つづき

JPEG

非常に広く使用されているデジタル静止画像フォーマットです。Joint Photographic Experts Group が提案した静止画像データ圧縮方式で、高圧縮率でありながら、画像の劣化を小さく抑えられることが特徴です。ファイルの拡張子 ".jpg" または ".jpeg" でこの方式であることが分かります。

MP3

音声データ圧縮技術によるファイルフォーマットです。Motion Picture Experts Group 1 の略称で、MPEG-1 とも言います。MP3 フォーマットにより、1 枚の CD-R または CD-RW に通常の CD 約 10 枚分のデータを格納できます。

PCM

パルス符号変調 (Pulse Code Modulation) の略称で、デジタル音声のエンコード方式です。

あ

アスペクト比

テレビ画面の縦横比率です。従来の標準テレビ画面の比率は 4:3 で、ワイドスクリーンテレビの画面の比率は 16:9 です。レターボックスにより、標準の 4:3 画面でもさまざまな比率の画像をお楽しみいただけます。

さ

サンプリング周波数

音声をデジタル音声データに変換するために、音声を特定の間隔で測定するための周波数。サンプリング周波数は、1 秒あたりのサンプリングの回数と定義されています。このレートが高いほど音質が上がります。

た

タイトル

ブルーレイディスクまたは DVD の映像のチャプターの集合体です。

チャプター

書籍が複数の章（チャプター）に分割されているのと同じく、ブルーレイディスクまたは DVD の映像タイトルは、通常「チャプター」に分割されています。

デジタル音声

音声信号を数値に変換したものです。デジタル音声はマルチチャンネルを介して伝送できます。アナログ音声の伝送が行えるのは 2 チャンネルのみです。

トラック

音楽用 CD では、ディスクのコンテンツを分割するためにトラックを使用しています。ブルーレイディスクまたは DVD の映像では同様のものをチャプターと呼びます。「チャプター」もご覧ください。

は

ブルーレイディスク

従来の DVD の 5 倍ものデータ格納能力を持つ、次世代光学映像ディスクです。この大記憶容量により、ハイビジョン画質、マルチチャンネルサラウンド音声、インタラクティブメニューなどの機能を利用できます。

り

リージョンコード

ディスクの再生を指定された地域（リージョン）内のみで可能にする方式です。本機が再生できるのは、対応リージョンコードのディスクのみです。お使いの装置の対応リージョンコードは、製品銘板に記載されています。複数の地域（または全地域）に対応するディスクもあります。

仕様

一般

信号方式	NTSC 方式
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力（待機時消費電力）	10W（0.5W 以下）
外形寸法	260（幅）× 43（高さ）× 194（奥行）mm
質量	1.0kg
許容動作温度	5℃～ 35℃
許容湿度	80% 最大（結露なきこと）
HDMI® 出力	Type A 端子（19 ピン）1 系統
USB 端子× 1 系統	USB1.1、USB2.0 準拠 TypeA DC5V 最大 500mA



- 仕様および外観は、改良のため予告無く変更することがあります。

ライセンス情報

本機で使われるソフトウェアのライセンス情報

本内容はライセンス情報のため、操作には関係ありません。

本機に組み込まれたソフトウェアは、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成され、個々のソフトウェアコンポーネントは、それぞれに第三者の著作権が存在します。

本機は、第三者が規定したエンドユーザーライセンスアグリーメントあるいは著作権通知（以下、「EULA」といいます）に基づきフリーソフトウェアとして配布されるソフトウェアコンポーネントを使用しております。

「EULA」の中には、実行形式のソフトウェアコンポーネントを配布する条件として、当該コンポーネントのソースコードの入手を可能にするよう求めているものがあります。当該「EULA」の対象となるソフトウェアコンポーネントのお問い合わせに関しては、以下のホームページをご覧ください。よろしくお願いいたします。

ホームページアドレス

https://www.regza.com/regza/bd_dvd/

また、本機のソフトウェアコンポーネントには、本機用に開発または作成したソフトウェアも含まれており、これらソフトウェアおよびそれに付帯したドキュメント類には、著作権法、国際条約条項および他の準拠法によって保護されています。

なお、「EULA」の適用を受けない本機用に作成したソフトウェアコンポーネントは、ソースコード提供の対象とはなりませんのでご了承ください。

ただし、「EULA」に基づいて配布されるソフトウェアコンポーネントには、著作権者または当社を含む第三者の保証がないことを前提に、お客様がご自身でご利用になられることが認められるものがあります。この場合、当該ソフトウェアコンポーネントは無償でお客様に使用許諾されますので、適用法令の範囲内で、当該ソフトウェアコンポーネントの保証は一切ありません。著作権やその他の第三者の権利等については、一切の保証がなく、“as is”（現状）の状態で、かつ、明示か黙示であるかを問わず一切の保証をつけないで、当該ソフトウェアコンポーネントが提供されます。ここでいう保証とは、市場性や特定目的適合性についての黙示の保証も含まれますが、それに限定されるものではありません。当該ソフトウェアコンポーネントの品質や性能に関するすべてのリスクはお客様が負うものとします。

ライセンス情報・つづき

また、当該ソフトウェアコンポーネントに欠陥があるとわかった場合、それに伴う派生費用や修理・訂正に要する費用は、当社は一切関与いたしません。適用法令の定め、または書面による合意がある場合を除き、著作権者や上記許諾を受けて当該ソフトウェアコンポーネントの変更・再配布を為し得る者は、当該ソフトウェアコンポーネントを使用したこと、または使用できないことに起因する損害について当社は一切関与いたしません。著作権者や第三者が、そのような損害の発生する可能性について知らされていた

場合でも同様です。なお、ここでいう損害には、通常損害、特別損害、偶発損害、間接損害が含まれます（データの消失、またはその正確さの喪失、お客様や第三者が被った損失、他のソフトウェアとのインタフェースの不適合化等も含まれますが、これに限定されるものではありません）。当該ソフトウェアコンポーネントの使用条件や遵守いただかなければならない事項等の詳細は、各「EULA」をお読みください。

本機に組み込まれた「EULA」の対象となるソフトウェアコンポーネントは、以下のとおりです。これらソフトウェアコンポーネントをお客様自身でご利用いただく場合は、対応する「EULA」をよく読んでから、ご利用くださるようお願いいたします。なお、各「EULA」は当社以外の第三者による規定であるため、原文を記載します。

本機で使われるフリーソフトウェアコンポーネントに関するエンドユーザーライセンスアグリーメント [原文](#)

対応ソフトウェアモジュール

Linux kernel	GPLv2
gcc libgcc	GPLv3.txt and gcc-exception.txt(GPLv3 with GCC Runtime Library Exception)
gcc libstdc++	GPLv3.txt and gcc-exception.txt(GPLv3 with GCC Runtime Library Exception)
glibc	LGPLv2.1
U-Boot	GPLv2
zlib	zlib.txt
FreeType	FreeType.txt
Expat	expat.txt
cURL	libcurl.txt
Independent JPEG group	libjpeg-7.txt
c-ares	c-arse.txt

mtd-utils	GPLv2
libmtp	LGPLv2.1
Open SSL	Openssl.txt

ライセンス情報・つづき

GNU GPLv2

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 2, June 1991

Copyright (C) 1989, 1991 Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301

USA Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Lesser General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free

programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/ or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for

everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you".

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium,

provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.

b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.

c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty

ライセンス情報・つづき

(or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may copy and distribute the Program (or a work

based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:

a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special excep-

tion, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms

and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.

6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

7. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the

ライセンス情報・つづき

section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to

the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and “any later version”, you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM “AS IS” WITHOUT WARRANTY

OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve

this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

one line to give the program's name and an idea of what it does.

Copyright (C) yyyy name of author

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License along with this pro-

ライセンス情報・つづき

gram; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301, USA.

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

```
Gnomovision version 69, Copyright (C) year  
name of author
```

```
Gnomovision comes with ABSOLUTELY NO WAR-  
RANTY; for details
```

```
type `show w'. This is free software, and  
you are welcome
```

```
to redistribute it under certain conditions;  
type `show c'
```

```
for details.
```

The hypothetical commands ``show w'` and ``show c'` should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than ``show w'` and ``show c'`; they could even be mouse-clicks or menu items--whatever suits your program.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the program ``Gnomovision'` (which makes passes at compilers) written by James Hacker.

signature of Ty Coon, 1 April 1989

Ty Coon, President of Vice

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Lesser General Public License instead of this License.

GNU GPLv3

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 3, 29 June 2007

Copyright (C) 2007 Free Software Foundation, Inc.

[<http://fsf.org/>](http://fsf.org/)

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

Preamble

The GNU General Public License is a free, copyleft license for software and other kinds of works.

The licenses for most software and other practical works

are designed to take away your freedom to share and change the works. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change all versions of a program—to make sure it remains free software for all its users. We, the Free Software Foundation, use the GNU General Public License for most of our software; it applies also to any other work released this way by its authors. You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for them if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs, and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to prevent others from denying you these rights or asking you to surrender the rights. Therefore, you have certain responsibilities if you distribute copies of the software, or if you modify it: responsibilities to respect the freedom of others.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must pass on to the recipients the same freedoms that you received. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

Developers that use the GNU GPL protect your rights

with two steps:

(1) assert copyright on the software, and (2) offer you this License giving you legal permission to copy, distribute and/or modify it.

For the developers' and authors' protection, the GPL clearly explains that there is no warranty for this free software. For both users' and authors' sake, the GPL requires that modified versions be marked as changed, so that their problems will not be attributed erroneously to authors of previous versions.

Some devices are designed to deny users access to install or run modified versions of the software inside them, although the manufacturer can do so. This is fundamentally incompatible with the aim of protecting users' freedom to change the software. The systematic pattern of such abuse occurs in the area of products for individuals to use, which is precisely where it is most unacceptable. Therefore, we have designed this version of the GPL to prohibit the practice for those products. If such problems arise substantially in other domains, we stand ready to extend this provision to those domains in future versions of the GPL, as needed to protect the freedom of users.

Finally, every program is threatened constantly by software patents. States should not allow patents to restrict development and use of software on general-purpose computers, but in those that do, we wish to avoid the special

ライセンス情報・つづき

danger that patents applied to a free program could make it effectively proprietary. To prevent this, the GPL assures that patents cannot be used to render the program nonfree.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

TERMS AND CONDITIONS

0. Definitions.

“This License” refers to version 3 of the GNU General Public License.

“Copyright” also means copyright-like laws that apply to other kinds of works, such as semiconductor masks.

“The Program” refers to any copyrightable work licensed under this License. Each licensee is addressed as “you”. “Licensees” and “recipients” may be individuals or organizations.

To “modify” a work means to copy from or adapt all or part of the work in a fashion requiring copyright permission, other than the making of an exact copy. The resulting work is called a “modified version” of the earlier work or a work “based on” the earlier work.

A “covered work” means either the unmodified Program or a work based on the Program.

To “propagate” a work means to do anything with it that, without permission, would make you directly or secondarily liable for infringement under applicable copyright law, ex-

cept executing it on a computer or modifying a private copy. Propagation includes copying, distribution (with or without modification), making available to the public, and in some countries other activities as well.

To “convey” a work means any kind of propagation that enables other parties to make or receive copies. Mere interaction with a user through a computer network, with no transfer of a copy, is not conveying.

An interactive user interface displays “Appropriate Legal Notices” to the extent that it includes a convenient and prominently visible feature that (1) displays an appropriate copyright notice, and (2) tells the user that there is no warranty for the work (except to the extent that warranties are provided), that licensees may convey the work under this License, and how to view a copy of this License. If the interface presents a list of user commands or options, such as a menu, a prominent item in the list meets this criterion.

1. Source Code.

The “source code” for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. “Object code” means any non-source form of a work.

A “Standard Interface” means an interface that either is an official standard defined by a recognized standards body, or, in the case of interfaces specified for a particular programming language, one that is widely used among developers working in that language.

The “System Libraries” of an executable work include anything, other than the work as a whole, that (a) is included in the normal form of packaging a Major Component, but which is not part of that Major Component, and (b) serves only to enable use of the work with that Major Component, or to implement a Standard Interface for which an implementation is available to the public in source code form. A “Major Component”, in this context, means a major essential component (kernel, window system, and so on) of the specific operating system (if any) on which the executable work runs, or a compiler used to produce the work, or an object code interpreter used to run it.

The “Corresponding Source” for a work in object code form means all the source code needed to generate, install, and (for an executable work) run the object code and to modify the work, including scripts to control those activities. However, it does not include the work’s System Libraries, or generalpurpose tools or generally available free programs which are used unmodified in performing those activities but which are not part of the work. For example, Corresponding Source includes interface definition files associated with source files for the work, and the source code for shared libraries and dynamically linked subprograms that the work is specifically designed to require, such as by intimate data communication or control flow between those subprograms and other parts of the work.

The Corresponding Source need not include anything that users can regenerate automatically from other parts of the Corresponding Source.

The Corresponding Source for a work in source code form is that same work.

2. Basic Permissions.

All rights granted under this License are granted for the term of copyright on the Program, and are irrevocable provided the stated conditions are met. This License explicitly affirms your unlimited permission to run the unmodified Program. The output from running a covered work is covered by this License only if the output, given its content, constitutes a covered work. This License acknowledges your rights of fair use or other equivalent, as provided by copyright law.

You may make, run and propagate covered works that you do not convey, without conditions so long as your license otherwise remains in force. You may convey covered works to others for the sole purpose of having them make modifications exclusively for you, or provide you with facilities for running those works, provided that you comply with the terms of this License in conveying all material for which you do not control copyright. Those thus making or running the covered works for you must do so exclusively on your behalf, under your direction and control, on terms that prohibit them from making any copies of your copyrighted material outside their relationship with you.

ライセンス情報・つづき

Conveying under any other circumstances is permitted solely under the conditions stated below. Sublicensing is not allowed; section 10 makes it unnecessary.

3. Protecting Users' Legal Rights From Anti-Circumvention Law.

No covered work shall be deemed part of an effective technological measure under any applicable law fulfilling obligations under article 11 of the WIPO copyright treaty adopted on 20 December 1996, or similar laws prohibiting or restricting circumvention of such measures.

When you convey a covered work, you waive any legal power to forbid circumvention of technological measures to the extent such circumvention is effected by exercising rights under this License with respect to the covered work, and you disclaim any intention to limit operation or modification of the work as a means of enforcing, against the work's users, your or third parties' legal rights to forbid circumvention of technological measures.

4. Conveying Verbatim Copies.

You may convey verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice; keep intact all notices stating that this License and any non-permissive terms added in accord with section 7 apply to the code; keep intact all notices of the absence of any warranty; and give all recipients

a copy of this License along with the Program.

You may charge any price or no price for each copy that you convey, and you may offer support or warranty protection for a fee.

5. Conveying Modified Source Versions.

You may convey a work based on the Program, or the modifications to produce it from the Program, in the form of source code under the terms of section 4, provided that you also meet all of these conditions:

a) The work must carry prominent notices stating that you modified it, and giving a relevant date.

b) The work must carry prominent notices stating that it is released under this License and any conditions added under section 7. This requirement modifies the requirement in section 4 to "keep intact all notices".

c) You must license the entire work, as a whole, under this License to anyone who comes into possession of a copy. This License will therefore apply, along with any applicable section 7 additional terms, to the whole of the work, and all its parts, regardless of how they are packaged. This License gives no permission to license the work in any other way, but it does not invalidate such permission if you have separately received it.

d) If the work has interactive user interfaces, each must display Appropriate Legal Notices; however, if the Program

has interactive interfaces that do not display Appropriate Legal Notices, your work need not make them do so.

A compilation of a covered work with other separate and independent works, which are not by their nature extensions of the covered work, and which are not combined with it such as to form a larger program, in or on a volume of a storage or distribution medium, is called an “aggregate” if the compilation and its resulting copyright are not used to limit the access or legal rights of the compilation's users beyond what the individual works permit. Inclusion of a covered work in an aggregate does not cause this License to apply to the other parts of the aggregate.

6. Conveying Non-Source Forms.

You may convey a covered work in object code form under the terms of sections 4 and 5, provided that you also convey the machine-readable Corresponding Source under the terms of this License, in one of these ways:

a) Convey the object code in, or embodied in, a physical product (including a physical distribution medium), accompanied by the Corresponding Source fixed on a durable physical medium customarily used for software interchange.

b) Convey the object code in, or embodied in, a physical product (including a physical distribution medium), accompanied by a written offer, valid for at least three years and valid for as long as you offer spare parts or customer support for that product model, to give anyone who possesses

the object code either (1) a copy of the Corresponding Source for all the software in the product that is covered by this License, on a durable physical medium customarily used for software interchange, for a price no more than your reasonable cost of physically performing this conveying of source, or (2) access to copy the Corresponding Source from a network server at no charge.

c) Convey individual copies of the object code with a copy of the written offer to provide the Corresponding Source. This alternative is allowed only occasionally and noncommercially, and only if you received the object code with such an offer, in accord with subsection 6b.

d) Convey the object code by offering access from a designated place (gratis or for a charge), and offer equivalent access to the Corresponding Source in the same way through the same place at no further charge. You need not require recipients to copy the Corresponding Source along with the object code. If the place to copy the object code is a network server, the Corresponding Source may be on a different server (operated by you or a third party) that supports equivalent copying facilities, provided you maintain clear directions next to the object code saying where to find the Corresponding Source. Regardless of what server hosts the Corresponding Source, you remain obligated to ensure that it is available for as long as needed to satisfy these requirements.

ライセンス情報・つづき

e) Convey the object code using peer-to-peer transmission, provided you inform other peers where the object code and Corresponding Source of the work are being offered to the general public at no charge under subsection 6d.

A separable portion of the object code, whose source code is excluded from the Corresponding Source as a System Library, need not be included in conveying the object code work.

A “User Product” is either (1) a “consumer product”, which means any tangible personal property which is normally used for personal, family, or household purposes, or (2) anything designed or sold for incorporation into a dwelling. In determining whether a product is a consumer product, doubtful cases shall be resolved in favor of coverage. For a particular product received by a particular user, “normally used” refers to a typical or common use of that class of product, regardless of the status of the particular user or of the way in which the particular user actually uses, or expects or is expected to use, the product. A product is a consumer product regardless of whether the product has substantial commercial, industrial or non-consumer uses, unless such uses represent the only significant mode of use of the product.

“Installation Information” for a User Product means any methods, procedures, authorization keys, or other information required to install and execute modified versions of a

covered work in that User Product from a modified version of its Corresponding Source. The information must suffice to ensure that the continued functioning of the modified object code is in no case prevented or interfered with solely because modification has been made.

If you convey an object code work under this section in, or with, or specifically for use in, a User Product, and the conveying occurs as part of a transaction in which the right of possession and use of the User Product is transferred to the recipient in perpetuity or for a fixed term (regardless of how the transaction is characterized), the Corresponding Source conveyed under this section must be accompanied by the Installation Information. But this requirement does not apply if neither you nor any third party retains the ability to install modified object code on the User Product (for example, the work has been installed in ROM).

The requirement to provide Installation Information does not include a requirement to continue to provide support service, warranty, or updates for a work that has been modified or installed by the recipient, or for the User Product in which it has been modified or installed. Access to a network may be denied when the modification itself materially and adversely affects the operation of the network or violates the rules and protocols for communication across the network.

Corresponding Source conveyed, and Installation Information provided, in accord with this section must be in a

format that is publicly documented (and with an implementation available to the public in source code form), and must require no special password or key for unpacking, reading or copying.

7. Additional Terms.

“Additional permissions” are terms that supplement the terms of this License by making exceptions from one or more of its conditions. Additional permissions that are applicable to the entire Program shall be treated as though they were included in this License, to the extent that they are valid under applicable law. If additional permissions apply only to part of the Program, that part may be used separately under those permissions, but the entire Program remains governed by this License without regard to the additional permissions.

When you convey a copy of a covered work, you may at your option remove any additional permissions from that copy, or from any part of it. (Additional permissions may be written to require their own removal in certain cases when you modify the work.) You may place additional permissions on material, added by you to a covered work, for which you have or can give appropriate copyright permission.

Notwithstanding any other provision of this License, for material you add to a covered work, you may (if authorized by the copyright holders of that material) supplement the terms of this License with terms:

a) Disclaiming warranty or limiting liability differently from the terms of sections 15 and 16 of this License; or

b) Requiring preservation of specified reasonable legal notices or author attributions in that material or in the Appropriate Legal Notices displayed by works containing it; or

c) Prohibiting misrepresentation of the origin of that material, or requiring that modified versions of such material be marked in reasonable ways as different from the original version; or

d) Limiting the use for publicity purposes of names of licensors or authors of the material; or

e) Declining to grant rights under trademark law for use of some trade names, trademarks, or service marks; or

f) Requiring indemnification of licensors and authors of that material by anyone who conveys the material (or modified versions of it) with contractual assumptions of liability to the recipient, for any liability that these contractual assumptions directly impose on those licensors and authors.

All other non-permissive additional terms are considered “further restrictions” within the meaning of section 10. If the Program as you received it, or any part of it, contains a notice stating that it is governed by this License along with a term that is a further restriction, you may remove that term. If a license document contains a further restriction but permits relicensing or conveying under this License, you may add to a covered work material governed by the terms of

ライセンス情報・つづき

that license document, provided that the further restriction does not survive such relicensing or conveying.

If you add terms to a covered work in accord with this section, you must place, in the relevant source files, a statement of the additional terms that apply to those files, or a notice indicating where to find the applicable terms.

Additional terms, permissive or non-permissive, may be stated in the form of a separately written license, or stated as exceptions; the above requirements apply either way.

8. Termination.

You may not propagate or modify a covered work except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to propagate or modify it is void, and will automatically terminate your rights under this License (including any patent licenses granted under the third paragraph of section 11).

However, if you cease all violation of this License, then your license from a particular copyright holder is reinstated (a) provisionally, unless and until the copyright holder explicitly and finally terminates your license, and (b) permanently, if the copyright holder fails to notify you of the violation by some reasonable means prior to 60 days after the cessation.

Moreover, your license from a particular copyright holder is reinstated permanently if the copyright holder notifies you of the violation by some reasonable means, this is the first

time you have received notice of violation of this License (for any work) from that copyright holder, and you cure the violation prior to 30 days after your receipt of the notice.

Termination of your rights under this section does not terminate the licenses of parties who have received copies or rights from you under this License. If your rights have been terminated and not permanently reinstated, you do not qualify to receive new licenses for the same material under section 10.

9. Acceptance Not Required for Having Copies.

You are not required to accept this License in order to receive or run a copy of the Program. Ancillary propagation of a covered work occurring solely as a consequence of using peer-to-peer transmission to receive a copy likewise does not require acceptance. However, nothing other than this License grants you permission to propagate or modify any covered work. These actions infringe copyright if you do not accept this License. Therefore, by modifying or propagating a covered work, you indicate your acceptance of this License to do so.

10. Automatic Licensing of Downstream Recipients.

Each time you convey a covered work, the recipient automatically receives a license from the original licensors, to run, modify and propagate that work, subject to this License. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.

An “entity transaction” is a transaction transferring control of an organization, or substantially all assets of one, or subdividing an organization, or merging organizations. If propagation of a covered work results from an entity transaction, each party to that transaction who receives a copy of the work also receives whatever licenses to the work the party’s predecessor in interest had or could give under the previous paragraph, plus a right to possession of the Corresponding Source of the work from the predecessor in interest, if the predecessor has it or can get it with reasonable efforts.

You may not impose any further restrictions on the exercise of the rights granted or affirmed under this License. For example, you may not impose a license fee, royalty, or other charge for exercise of rights granted under this License, and you may not initiate litigation (including a crossclaim or counterclaim in a lawsuit) alleging that any patent claim is infringed by making, using, selling, offering for sale, or importing the Program or any portion of it.

11. Patents.

A “contributor” is a copyright holder who authorizes use under this License of the Program or a work on which the Program is based. The work thus licensed is called the contributor’s “contributor version”.

A contributor’s “essential patent claims” are all patent claims owned or controlled by the contributor, whether already acquired or hereafter acquired, that would be

infringed by some manner, permitted by this License, of making, using, or selling its contributor version, but do not include claims that would be infringed only as a consequence of further modification of the contributor version. For purposes of this definition, “control” includes the right to grant patent sublicenses in a manner consistent with the requirements of this License.

Each contributor grants you a non-exclusive, worldwide, royalty-free patent license under the contributor’s essential patent claims, to make, use, sell, offer for sale, import and otherwise run, modify and propagate the contents of its contributor version.

In the following three paragraphs, a “patent license” is any express agreement or commitment, however denominated, not to enforce a patent (such as an express permission to practice a patent or covenant not to sue for patent infringement). To “grant” such a patent license to a party means to make such an agreement or commitment not to enforce a patent against the party.

If you convey a covered work, knowingly relying on a patent license, and the Corresponding Source of the work is not available for anyone to copy, free of charge and under the terms of this License, through a publicly available network server or other readily accessible means, then you must either (1) cause the Corresponding Source to be so available, or (2) arrange to deprive yourself of the benefit of

ライセンス情報・つづき

the patent license for this particular work, or (3) arrange, in a manner consistent with the requirements of this License, to extend the patent license to downstream recipients. “Knowingly relying” means you have actual knowledge that, but for the patent license, your conveying the covered work in a country, or your recipient’s use of the covered work in a country, would infringe one or more identifiable patents in that country that you have reason to believe are valid.

If, pursuant to or in connection with a single transaction or arrangement, you convey, or propagate by procuring conveyance of, a covered work, and grant a patent license to some of the parties receiving the covered work authorizing them to use, propagate, modify or convey a specific copy of the covered work, then the patent license you grant is automatically extended to all recipients of the covered work and works based on it.

A patent license is “discriminatory” if it does not include within the scope of its coverage, prohibits the exercise of, or is conditioned on the non-exercise of one or more of the rights that are specifically granted under this License. You may not convey a covered work if you are a party to an arrangement with a third party that is in the business of distributing software, under which you make payment to the third party based on the extent of your activity of conveying the work, and under which the third party grants, to any of the parties who would receive the covered work from you, a

discriminatory patent license (a) in connection with copies of the covered work conveyed by you (or copies made from those copies), or (b) primarily for and in connection with specific products or compilations that contain the covered work, unless you entered into that arrangement, or that patent license was granted, prior to 28 March 2007.

Nothing in this License shall be construed as excluding or limiting any implied license or other defenses to infringement that may otherwise be available to you under applicable patent law.

12. No Surrender of Others’ Freedom.

If conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot convey a covered work so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not convey it at all. For example, if you agree to terms that obligate you to collect a royalty for further conveying from those to whom you convey the Program, the only way you could satisfy both those terms and this License would be to refrain entirely from conveying the Program.

13. Use with the GNU Affero General Public License.

Notwithstanding any other provision of this License, you have permission to link or combine any covered work with

a work licensed under version 3 of the GNU Affero General Public License into a single combined work, and to convey the resulting work. The terms of this License will continue to apply to the part which is the covered work, but the special requirements of the GNU Affero General Public License, section 13, concerning interaction through a network will apply to the combination as such.

14. Revised Versions of this License.

The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the GNU General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies that a certain numbered version of the GNU General Public License “or any later version” applies to it, you have the option of following the terms and conditions either of that numbered version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of the GNU General Public License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

If the Program specifies that a proxy can decide which future versions of the GNU General Public License can be used, that proxy's public statement of acceptance of a version permanently authorizes you to choose that version for

the Program.

Later license versions may give you additional or different permissions. However, no additional obligations are imposed on any author or copyright holder as a result of your choosing to follow a later version.

15. Disclaimer of Warranty.

THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM “AS IS” WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

16. Limitation of Liability.

IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MODIFIES AND/OR CONVEYS THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR

ライセンス情報・つづき

CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

17. Interpretation of Sections 15 and 16.

If the disclaimer of warranty and limitation of liability provided above cannot be given local legal effect according to their terms, reviewing courts shall apply local law that most closely approximates an absolute waiver of all civil liability in connection with the Program, unless a warranty or assumption of liability accompanies a copy of the Program in return for a fee.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively state the exclusion of warranty; and each file should have at least the “copyright” line and a pointer to

where the full notice is found.

<one line to give the program's name and a brief idea of what it does.>

Copyright (C) <year> <name of author>

This program is free software: you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation, either version 3 of the License, or (at your option) any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program. If not, see <<http://www.gnu.org/licenses/>>.

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

If the program does terminal interaction, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

<program> Copyright (C) <year> <name of author>

This program comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details type `show w'.

This is free software, and you are welcome to redistribute

it under certain conditions; type `show c' for details.

The hypothetical commands `show w' and `show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, your program's commands might be different; for a GUI interface, you would use an "about box".

You should also get your employer (if you work as a programmer) or school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program, if necessary.

For more information on this, and how to apply and follow the GNU GPL, see <<http://www.gnu.org/licenses/>>.

The GNU General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Lesser General Public License instead of this License. But first, please read <<http://www.gnu.org/philosophy/why-not-lgpl.html>>.

LGPLv2.1

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 2.1, February 1999

Copyright (C) 1991, 1999 Free Software Foundation, Inc. 51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

[This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License, version 2, hence the version number 2.1.]

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users.

This license, the Lesser General Public License, applies to some specially designated software packages--typically libraries -- of the Free Software Foundation and other authors who decide to use it. You can use it too, but we suggest you first think carefully about whether this license or the ordinary General Public License is the better strategy to use in any particular case, based on the explanations below.

When we speak of free software, we are referring to freedom of use, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish); that you receive source code or can get it if you want it; that you can change the software and use pieces of it in new free programs; and that you are informed that you can do these things.

ライセンス情報・つづき

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid distributors to deny you these rights or to ask you to surrender these rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link other code with the library, you must provide complete object files to the recipients, so that they can relink them with the library after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the library, and (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.

To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty for the free library. Also, if the library is modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they have is not the original version, so that the original author's reputation will not be affected by problems that might be introduced by others.

Finally, software patents pose a constant threat to the existence of any free program. We wish to make sure that a company cannot effectively restrict the users of a free pro-

gram by obtaining a restrictive license from a patent holder. Therefore, we insist that any patent license obtained for a version of the library must be consistent with the full freedom of use specified in this license.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License. This license, the GNU Lesser General Public License, applies to certain designated libraries, and is quite different from the ordinary General Public License. We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into non-free programs.

When a program is linked with a library, whether statically or using a shared library, the combination of the two is legally speaking a combined work, a derivative of the original library. The ordinary General Public License therefore permits such linking only if the entire combination fits its criteria of freedom. The Lesser General Public License permits more lax criteria for linking other code with the library.

We call this license the “Lesser” General Public License because it does Less to protect the user's freedom than the ordinary General Public License. It also provides other free software developers Less of an advantage over competing non-free programs. These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. However, the Lesser license provides advantages in certain special circumstances.

For example, on rare occasions, there may be a special need to encourage the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard. To achieve this, non-free programs must be allowed to use the library. A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries.

In this case, there is little to gain by limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License. In other cases, permission to use a particular library in non-free programs enables a greater number of people to use a large body of free software. For example, permission to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU/Linux operating system.

Although the Lesser General Public License is Less protective of the users' freedom, it does ensure that the user of a program that is linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modified version of the Library.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a "work based on the library" and a "work that uses the library". The former contains code derived from the library, whereas the latter must be combined with the library in order to run.

TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called "this License"). Each licensee is addressed as "you". A "library" means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.

The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work

ライセンス情報・つづき

containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term “modification”).

“Source code” for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library. You may charge a fee for the physical act of transferring a copy,

and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a) The modified work must itself be a software library.

b) You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.

c) You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.

d) If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful. (For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library.

To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a

newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.

Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.

This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange. If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that uses

ライセンス情報・つづき

the Library”. Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License. However, linking a “work that uses the Library” with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a “work that uses the library”. The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables.

When a “work that uses the Library” uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.

If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)

Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with

the Library itself.

6. As an exception to the Sections above, you may also combine or link a “work that uses the Library” with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer’s own use and reverse engineering for debugging such modifications. You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:

a) Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable “work that uses the Library”, as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to

use the modified definitions.)

b) Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (1) uses at run time a copy of the library already present on the user's computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate properly with a modified version of the library, if the user installs one, as long as the modified version is interface-compatible with the version that the work was made with.

c) Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.

d) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.

e) Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy. For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:

a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.

b) Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.

8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under

ライセンス情報・つづき

this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

9. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.

10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.

11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License

and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted

interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

13. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and “any later version”, you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all

derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY “AS IS” WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING

ライセンス情報・つづき

RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

zlib

zlib.h -- interface of the 'zlib' general purpose compression library

version 1.2.3, July 18th, 2005

Copyright (C) 1995-2005 Jean-loup Gailly and Mark Adler

This software is provided 'as-is', without any express or implied warranty. In no event will the authors be held liable for any damages arising from the use of this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the following restrictions:

1. The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated but is not required.

2. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.

3. This notice may not be removed or altered from any source distribution.

Jean-loup Gailly jloup@gzip.org

Mark Adler madler@alumni.caltech.edu

The FreeType Project LICENSE

2006-Jan-27

Copyright 1996-2002, 2006 by David Turner, Robert Wilhelm, and Werner Lemberg

Introduction

=====

The FreeType Project is distributed in several archive packages; some of them may contain, in addition to the FreeType font engine, various tools and contributions which rely on, or relate to, the FreeType Project.

This license applies to all files found in such packages, and which do not fall under their own explicit license. The license affects thus the FreeType font engine, the test programs, documentation and makefiles, at the very least.

This license was inspired by the BSD, Artistic, and IJG (Independent JPEG Group) licenses, which all encourage inclusion and use of free software in commercial and free-ware products alike. As a consequence, its main points are that:

We don't promise that this software works. However, we

will be interested in any kind of bug reports. ('as is' distribution) You can use this software for whatever you want, in parts or full form, without having to pay us. ('royalty-free' usage)

You may not pretend that you wrote this software. If you use it, or only parts of it, in a program, you must acknowledge somewhere in your documentation that you have used the FreeType code. ('credits')

We specifically permit and encourage the inclusion of this software, with or without modifications, in commercial products. We disclaim all warranties covering The FreeType Project and assume no liability related to The FreeType Project.

Finally, many people asked us for a preferred form for a credit/disclaimer to use in compliance with this license. We thus encourage you to use the following text:

“””

Portions of this software are copyright © <year> The FreeType Project (www.freetype.org). All rights reserved.

“””

Please replace <year> with the value from the FreeType version you actually use.

Legal Terms

=====

0. Definitions

Throughout this license, the terms 'package', 'FreeType Project', and 'FreeType archive' refer to the set of files originally distributed by the authors (David Turner, Robert Wilhelm, and Werner Lemberg) as the 'FreeType Project', be they named as alpha, beta or final release.

'You' refers to the licensee, or person using the project, where 'using' is a generic term including compiling the project's source code as well as linking it to form a 'program' or 'executable'.

This program is referred to as 'a program using the FreeType engine'.

This license applies to all files distributed in the original FreeType Project, including all source code, binaries and documentation, unless otherwise stated in the file in its original, unmodified form as distributed in the original archive.

If you are unsure whether or not a particular file is covered by this license, you must contact us to verify this.

The FreeType Project is copyright (C) 1996-2000 by David Turner, Robert Wilhelm, and Werner Lemberg. All rights reserved except as specified below.

1. No Warranty

THE FREETYPE PROJECT IS PROVIDED 'AS IS' WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR

ライセンス情報・つづき

A PARTICULAR PURPOSE. IN NO EVENT WILL ANY OF THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY DAMAGES CAUSED BY THE USE OR THE INABILITY TO USE, OF THE FREETYPE PROJECT.

2. Redistribution

This license grants a worldwide, royalty-free, perpetual and irrevocable right and license to use, execute, perform, compile, display, copy, create derivative works of, distribute and sublicense the FreeType Project (in both source and object code forms) and derivative works thereof for any purpose; and to authorize others to exercise some or all of the rights granted herein, subject to the following conditions:

Redistribution of source code must retain this license file ('FTL.TXT') unaltered; any additions, deletions or changes to the original files must be clearly indicated in accompanying documentation. The copyright notices of the unaltered, original files must be preserved in all copies of source files.

Redistribution in binary form must provide a disclaimer that states that the software is based in part of the work of the FreeType Team, in the distribution documentation. We also encourage you to put an URL to the FreeType web page in your documentation, though this isn't mandatory.

These conditions apply to any software derived from or based on the FreeType Project, not just the unmodified files. If you use our work, you must acknowledge us. However, no fee need be paid to us.

3. Advertising

Neither the FreeType authors and contributors nor you shall use the name of the other for commercial, advertising, or promotional purposes without specific prior written permission.

We suggest, but do not require, that you use one or more of the following phrases to refer to this software in your documentation or advertising materials: 'FreeType Project', 'FreeType Engine', 'FreeType library', or 'FreeType Distribution'.

As you have not signed this license, you are not required to accept it. However, as the FreeType Project is copyrighted material, only this license, or another one contracted with the authors, grants you the right to use, distribute, and modify it.

Therefore, by using, distributing, or modifying the FreeType Project, you indicate that you understand and accept all the terms of this license.

4. Contacts

There are two mailing lists related to FreeType: freetype@nongnu.org

Discusses general use and applications of FreeType, as well as future and wanted additions to the library and distribution.

If you are looking for support, start in this list if you

haven't found anything to help you in the documentation.

freetype-devel@nongnu.org

Discusses bugs, as well as engine internals, design issues, specific licenses, porting, etc.

Our home page can be found at <http://www.freetype.org>

Expat

Copyright (c) 1998, 1999, 2000 Thai Open Source Software Center Ltd and Clark Cooper

Copyright (c) 2001, 2002, 2003, 2004, 2005, 2006 Expat maintainers.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the Software), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE

AND NONINFRINGEMENT.

IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

libcurl

COPYRIGHT AND PERMISSION NOTICE

Copyright (c) 1996 - 2011, Daniel Stenberg, <daniel@haxx.se>.

All rights reserved.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OF THIRD PARTY RIGHTS. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE

ライセンス情報・つづき

USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of a copyright holder shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization of the copyright holder.

libjpeg-7

1. We don't promise that this software works. (But if you find any bugs, please let us know!)
2. You can use this software for whatever you want. You don't have to pay us.
3. You may not pretend that you wrote this software. If you use it in a program, you must acknowledge somewhere in your documentation that you've used the IJG code.

In legalese:

The authors make NO WARRANTY or representation, either express or implied, with respect to this software, its quality, accuracy, merchantability, or fitness for a particular purpose.

This software is provided "AS IS", and you, its user, assume the entire risk as to its quality and accuracy.

This software is copyright (C) 1991-1998, Thomas G. Lane.

All Rights Reserved except as specified below.

Permission is hereby granted to use, copy, modify, and distribute this software (or portions thereof) for any purpose, without fee, subject to these conditions:

(1) If any part of the source code for this software is distributed, then this README file must be included, with this copyright and no-warranty notice unaltered; and any additions, deletions, or changes to the original files must be clearly indicated in accompanying documentation.

(2) If only executable code is distributed, then the accompanying documentation must state that "this software is based in part on the work of the Independent JPEG Group".

(3) Permission for use of this software is granted only if the user accepts full responsibility for any undesirable consequences; the authors accept NO LIABILITY for damages of any kind.

These conditions apply to any software derived from or based on the IJG code, not just to the unmodified library. If you use our work, you ought to acknowledge us.

Permission is NOT granted for the use of any IJG author's name or company name in advertising or publicity relating to this software or products derived from it. This software may be referred to only as "the Independent JPEG Group's software".

We specifically permit and encourage the use of this software as the basis of commercial products, provided that all warranty or liability claims are assumed by the product vendor.

ansi2knr.c is included in this distribution by permission of L. Peter Deutsch, sole proprietor of its copyright holder,

Aladdin Enterprises of Menlo Park, CA. ansi2knr.c is NOT covered by the above copyright and conditions, but instead by the usual distribution terms of the Free Software Foundation; principally, that you must include source code if you redistribute it. (See the file ansi2knr.c for full details.) However, since ansi2knr.c is not needed as part of any program generated from the IJG code, this does not limit you more than the foregoing paragraphs do.

The Unix configuration script "configure" was produced with GNU Autoconf. It is copyright by the Free Software Foundation but is freely distributable. The same holds for its supporting scripts (config.guess, config.sub, ltconfig, ltmain.sh). Another support script, install-sh, is copyright by X Consortium. but is also freely distributable.

The IJG distribution formerly included code to read and write GIF files. To avoid entanglement with the Unisys LZW patent, GIF reading support has been removed altogether, and the GIF writer has been simplified to produce uncompressed GIFs. This technique does not use the LZW algorithm; the resulting GIF files are larger than usual, but are readable by all standard GIF decoders.

We are required to state that "The Graphics Interchange Format(c) is the Copyright property of CompuServe Incorporated. GIF(sm) is a Service Mark property of CompuServe Incorporated."

c-ares

Copyright 1998 by the Massachusetts Institute of Technology.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software and its documentation for any purpose and without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that the name of M.I.T. not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific, written prior permission. M.I.T. makes no representations about the suitability of this software for any purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty.

OpenSSL

LICENSE ISSUES

=====

The OpenSSL toolkit stays under a dual license, i.e. both the conditions of the OpenSSL License and the original SSLeay license apply to the toolkit. See below for the actual license texts. Actually both licenses are BSD-style Open Source licenses. In case of any license issues related to OpenSSL please contact openssl-core@openssl.org.

OpenSSL License

=====

ライセンス情報・つづき

Copyright © 1998-2011 The OpenSSL Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>)"
4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.
5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.
6. Redistributions of any form whatsoever must retain the

following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

=====

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Original SSLeay License

使用上のお願い

免責事項について

- 火災、地震や雷などの自然災害、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた障害に関して、当社は一切関与いたしません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な障害（事業利益の損失、事業の中断）に関して、当社は故意または重過失ある場合を除き責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切関与いたしません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアなどとの意図しない組み合わせによる誤動作やハングアップ（操作不能）などから生じた損害に関して、当社は一切関与いたしません。
- 製品の仕様、情報、および可用性はすべて予告なく変更することがあります。

ディスクドライブについての重要なお願い

日本国内用です

- 本機を使用できるのは日本国内だけです。外国では電源電圧が異なりますので使えません。
This player is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries.

取扱いに関すること

- 非常時を除いて、電源が入っている状態では絶対に電源プラグをコンセントから抜かないでください。故障の原因となります。
- 引っ越しなど、遠くへ運ぶときは、傷がつかないように毛布などでくるんでください。また、衝撃や振動をあたえないでください。
- 殺虫剤や揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変色したり、塗装がはげたりする原因となります。
- たばこの煙や煙を出すタイプの殺虫剤、ほこりなどが機器内部に入ると故障の原因になります。
- 長時間ご使用になっていると上面や背面が多少熱くなりますが、故障ではありません。

使用上のお願ひ・つづき

- 本機は精密電子機器です。長くご愛用いただくためにできるだけ丁寧に取扱ってください。

使用しないときは

- ふだん使用しないとき
ディスクを取り出し、電源を切っておいてください。
- 長期間使用しないとき
電源プラグを抜いてください。

置き場所に関すること

- 本機は水平で安定した場所に設置してください。ぐらぐらする机や傾いている所など不安定な場所で使わないでください。ディスクがはずれるなどして、故障の原因となります。本機を設置する場所は、本機の重さが十分に耐えられることを確認してください。また本機が落下した場合に、けがの原因となるため、高い場所への設置はしないでください。
- 本機をテレビやラジオなどの近くに置く場合には、本機を使用中、組み合わせによっては画像や音声に悪い影響を与えることがあります。万一、このような症状が発生した場合はテレビやラジオなどからできるだけ離してください。

- 直射日光のあたる場所、熱器具の近くなど温度が高くなる場所や、熱源になるような機器の上には置かないでください。故障の原因になります。

お手入れに関すること

- お手入れの際は、本機の電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- 本体のよごれはやわらかい布(ガーゼ等)で軽く拭き取ってください。ティッシュペーパーや硬い布は使わないでください。
- ベンジンやシンナー等有機溶剤、石油類は絶対に使用しないでください。本体表面を変質させます。
- 油汚れ等が付いたときは、弱い中性洗剤を薄めたものを柔らかい布に含ませたものを固く絞って使用し、その後、温水を含ませて固く絞った布で十分に拭き取ってください。ただし、わずかに表面が変質する事がありえる事は予めご承知ください。

クリーニングディスクについて

- 市販のレンズクリーナーやレンズクリーニングディスクは、本機では使わないでください。

ディストレイについて

- ディストレイの開閉は、本体またはリモコンのボタン操作で行ってください。手で押して閉じたり、動いているディストレイに触れたりすると、故障の原因になります。
- 本機で再生できないディスクやディスク以外のものをディストレイに入れないでください。または、ディストレイ上から押したり、ものを置いたりしないでください。故障の原因となります。
- ディストレイに入れられるのは1枚だけです。2枚など、複数のディスクを入れると故障の原因となります。
- ディストレイの開閉時に異常がある場合は、保護機能によって自動的に止まります。
- 本機で使用したときに異常を示すメッセージが出るディスクを、本機以外の機器で使用すると、ディスク内部のデータを破損し、再生できなくなることがありますので、ご注意ください。

音量について

- 市販のBD/DVD-Videoの中には、音量が音楽CDなどの他のソフトよりも小さく感じられる場合があります。これらのディスクの再生のためにテレビやアンプ側の音量を上げたときには、再生が終わったあとに必ず音量を下げてください。

再生するときの制約

- 付属の取扱説明書は、本機の基本的な操作のしかたを説明しています。市販のBD/DVD-Videoなどは、ディスク制作者側の意図で再生状態が決められていることがあります。本機はディスク制作者が意図した内容にしたがって再生をするため、操作したとおりに動作しないことがあります。再生するディスクに付属の説明書もご覧ください。
- ボタン操作中にテレビ画面に「」が表示されることがあります。「」が表示されたときは、本機もしくはディスクがその操作ができないことを示します。

使用上のお願い・つづき

ソフトウェアの変更について

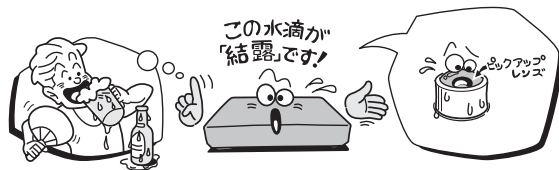
- 本機は品質について万全を期しておりますが、本体内部のソフトウェアを変更して、品質や性能をさらに改善する場合があります。その場合、ユーザー登録をしていただいたお客様にはご案内をさせていただきますので、ユーザー登録にご協力いただきますよう、お願いいたします。
- ソフトウェアのバージョンアップについては、**45**をご覧ください。ソフトウェアのバージョンアップ中は電源を切ったり電源プラグをコンセントから抜いたりしないでください。

HDMI連動機能について

- 推奨機器以外の機器を本機のHDMI出力端子に接続した場合に、本機がHDMI連動対応機器として認識し、一部の連動操作ができることがあります。その動作については保証するものではありません。

結露(露付き)について

- 結露はディスクや本機を傷めます。よくお読みください
例えば、よく冷えたビールをコップにつぐと、コップの表面に水滴がつきます。これを“結露(露付き)”といいます。この現象と同じように、本機の内部のピックアップレンズや部品、部品内部などに水滴がつくことがあります。



● “結露”はこんなときおきます

- 本機を寒いところから、急に暖かいところに移動したとき
- 暖房を始めたばかりの部屋や、エアコンなどの冷風が直接あたるところに置いたとき
- 夏季に、冷房のきいた部屋・車内などから急に温度・湿度の高いところに移動したとき
- 湯気が立ちこめるなど、湿気の多い部屋に置いたとき

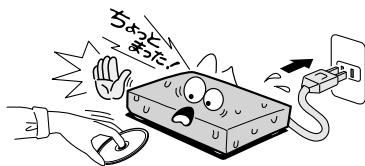


結露がおきそうなときは、本機をすぐにご使用にならないでください。

● “結露(露つき)”がおきた状態で本機をお使いになりますと、ディスクや部品を傷めることがあります。

“結露(露付き)”がおきたとき、またはおきそうなときは本機のご使用を直ちにやめてください。または電源プラグをコンセントに挿入しないでください。

しばらくの間、電源プラグをコンセントに差し込まない状態にしておき、“結露(露つき)”が解消されてから使用してください。



本機の廃棄、または他の人に譲渡するとき

- 廃棄の際は、地方自治体の条例または規則にしたがってください。
- 本機には、各種機能の設定時に入力したお客様の個人情報
が記録されます。本機を廃棄・譲渡などする場合には、
以下の初期化を行い、パスワードや個人情報なども含め
て、初期化することをおすすめします。
 - 初期設定に戻す **45**

使用上のお願い・つづき

- お客様または第三者が本機の操作を誤ったとき、または故障・修理のときなどに本機に保存されたデータなどが変化・消失するおそれがあります。これらの場合について、当社は一切関与いたしません。

著作権について

- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。 Dolby, ドルビー, Dolby Audio およびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- For DTS patents, see <http://patents.dts.com>. Manufactured under license from DTS Licensing Limited. DTS, the Symbol, & DTS and the Symbol together are registered trademarks, and DTS 2.0+Digital Out is a trademark of DTS, Inc. © DTS, Inc. All Rights Reserved.
- Blu-ray Disc™ (ブルーレイディスク)、Blu-ray™ (ブルーレイ)、BONUSVIEW™、AVCREC™ 及び関連ロゴはブルーレイディスクアソシエーションの商標です。

- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または、登録商標です。
- Oracle と Javaは、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。
- “AVCHD” および “AVCHD” ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- 本製品は、AVC Patent Portfolio License および VC-1 Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、お客さまが個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかわる個人使用を除いてはライセンスされておりません。
 - ・ AVC規格に準拠する動画を記録する場合
 - ・ 個人的かつ非営利活動に従事する消費者によって記録されたAVC規格に準拠する動画およびVC-1規格に準拠する動画を再生する場合

- ライセンスを受けた提供者から入手されたAVC規格に準拠する動画およびVC-1規格に準拠する動画を再生する場合

詳細については米国法人MPEG LA, LLC
(<http://www.mpegla.com>)をご参照ください。

● Cinavia™

Cinaviaの通告

この製品はCinavia技術を利用して、商用制作された映画や動画およびそのサウンドトラックのうちいくつかの無許可コピーの利用を制限しています。

無許可コピーの無断利用が検知されると、メッセージが表示され再生あるいはコピーが中断されます。

Cinavia技術に関する詳細情報は、
<http://www.cinavia.com> のCinaviaオンラインお客様情報センターで提供されています。

Cinaviaについての追加情報を郵送でお求めの場合、Cinavia Consumer Information Center, P.O. Box 86851, San Diego, CA, 92138, USAまでがきを郵送してください。

この製品はVerance Corporation (ベランス・コーポレーション)のライセンス下にある占有技術を含んでおり、その技術の一部の特徴は米国特許第7,369,677号など、取得済みあるいは申請中の米国および全世界の特

許や、著作権および企業秘密保護により保護されています。CinaviaはVerance Corporationの商標です。

Copyright 2004-2013 Verance Corporation. すべての権利はVeranceが保有しています。

リバース・エンジニアリングあるいは逆アセンブルは禁じられています。

- その他に記載されている会社名、ブランド名、ロゴ、製品名、機能名などは、それぞれの会社の商標または登録商標です。

商品の保証とアフターサービス

必ずお読みください

保証書について

- 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みのあと、たいせつに保管してください。

補修用性能部品について

- 当社は、ブルーレイディスクプレーヤーの補修用性能部品を、製造打ち切り後、8年間保有しています。
- 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。
- 修理のために取りはずした部品は、当社で引き取らせていただきます。
- 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

保証期間 お買い上げ日から1年間です。ただし、業務用にご使用の場合、あるいは特殊使用の場合は、保証期間内でも「有料修理」とさせていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

修理を依頼されるときは～持ち込み修理

異常のあるときは、使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証期間中は

商品の修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定にしたがって販売店が修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容			
品 名	ブルーレイディスクプレーヤー		
形 名	DBP-S500	お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に		
ご 住 所	付近の目印なども合わせてお知らせください		
お 名 前	電 話 番 号		
便利メモ	お客様へ…おぼえのため、お買い上げ店名を記入すると便利です。		
お買い上げ店名	☎ () —		

保証期間が過ぎているときは

商品を修理すれば使用できる場合には、ご希望によって有料で修理させていただきます。

修理料金の仕組み	
技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
+	
部品代	修理に使用した部品の代金です。

■ 修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼はお買い上げの販売店にお申し付けください。

商品のお問い合わせに関して

基本的な取扱方法や故障と思われる場合のご確認

東芝ブルーレイ / DVD < レグザ > お客様サポートページをご覧ください
https://www.regza.com/regza/bd_dvd/cs/index.html

商品選びのご相談や、お買い上げ後の基本的な取扱方法、故障と思われる場合のご相談

『東芝 DVD インフォメーションセンター』

(一般回線からの
ご利用は)

フリーダイヤル
(通話料：無料)

0120-96-3755

(携帯電話からの
ご利用は)

ナビダイヤル
(通話料：有料)

0570-00-3755

(PHS や IP 電話
からのご利用は)

(通話料：有料)

03-6830-1855

(FAX)

(有料)

03-3258-0470

※ 間違い電話が増えております。電話番号をよくお確かめのうえ、おかけいただきますようお願いいたします。

※ フリーダイヤルは携帯電話・PHS など一部の電話ではご利用になれません

- ・「東芝 DVD インフォメーションセンター」は TVS REGZA 株式会社 が運営しております。
- ・お客様の個人情報は、当社の「個人情報保護方針」に従い適切な保護を実施しています。
- ・お客様からご提供いただいた個人情報は、ご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- ・利用目的の範囲内で、当該製品に関連する当社グループ会社、東芝家電製品関連会社や協力会社にお客様の個人情報を提供することがあります。



愛情点検

長年ご使用のブルーレイディスクプレーヤー
の点検をぜひ！

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合いによって部品が劣化し、故障
したり、ときには安全性を損なって事故につながることもあります。

ご使用の際
このような症状は
ありませんか？

- ・再生しても音や映像が出ない。
- ・煙が出たり、異常なおいや音がする。
- ・水や異物がはいった。
- ・ディスクが傷ついたり、取り出しができません。
- ・電源コード、プラグが異常に熱くなる。
- ・その他の異常や故障がある。

ご使用
中止

このような場合、故障や事故防止のため、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、必ずお買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。
ご自分での修理は危険ですので、絶対にしないでください。

© 2021 TVS REGZA Corporation

無断複製および転載を禁ず

TVS REGZA 株式会社

〒212-0058 神奈川県川崎市幸区鹿島田1-1-2

*所在地は変更になることがありますのでご了承ください。